

筑波大学新聞

第362号

編集責任
筑波大学新聞
編集委員会

TEL・FAX 029(853)6699

E-mail
shinbun@un.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

春学期授業 オンライン中心

対面割合 3分の1を目指す



学位記を受け取る卒業生＝広報室提供

筑波大は今年度春学期の授業を昨年度秋学期と同様にオンライン中心で実施する。新型コロナウイルス感染症防止のためだ。教育推進課によると、少なくとも昨年度秋学期と同じ3分の1程度は対面を実施できるように準備を進めている。一方、3月25日の卒業式・大学院学位記授与式と4月5日の入学式は参加者を卒業生や修士、入学生に限定した上での実施となった。

教育推進課によれば、学一右の間隔を1米以上空ける生の「3密(密集、密接、密着)を避けること」にしている。この規定を満すため、対面を満す教室が確保できない授業では学生同士の前後左右の授業はオンラインとなる。

(西村大祐)人文科学類4年、山田優芽)比較文化学類2年、16面(関連写真)

一部の学生が対面で、他の学生が双方向型オンラインで受講するなど、ハイブリッド型の活用も進める。各学群で学べることを網羅的に紹介する総合科目「学問への誘い」はオンラインとするが、1年生対象のオリエンテーションやクラスごとに開講する「フ

レシミュレーション」は原則対面を実施する。対面授業を受講する学生には、マスク着用と体温や健康状態などを健康観察記録に記入することを引き続き義務付ける。授業で使用する机や椅子の消毒をすることも求める。また、全学計算機システムサテライトの一部や学生控室、自習スペースなどをオンライン授業の受講のために使用できるようにする。



(3月26日、第一エリアで)

大きな荷物を持ち、木々の生い茂る大学構内の道を歩く筑波大生。春は出会いと別れの季節。桜前線の北上とともに、学生たちの新生活も始まる。(梅津拓人)比較文化学類3年(写真)

筑波大 大学債発行を目指す

学生宿舎建て替えと研究拠点に

筑波大の永田恭介学長は、大学債を活用して学生宿舎の建て替えや「つくば・イノベーション・ベース」(TIB)の建設を進めたい考えを本紙の取材で明らかにした。大学債は2020年6月の国立大学法人法の改正で発行要件が緩和されている。永田学長は「できるだけ早く発行し、出資者を確保したい」と語った。

(大和祐菜)障害科学類3年

永田学長は、建て替え一点にしたい。学ぶ場所と住居が近い「学住近接」の実現を「チューリッパル教育の拠」を「現を目指す」と話した。

筑波大は昨年、指定国立大学法人に指定された。チューリッパル教育は可能ならば各学生にチューター教員1人を配置し、科目履修などの指導をするもので、国への申請時の構想で掲げていた。



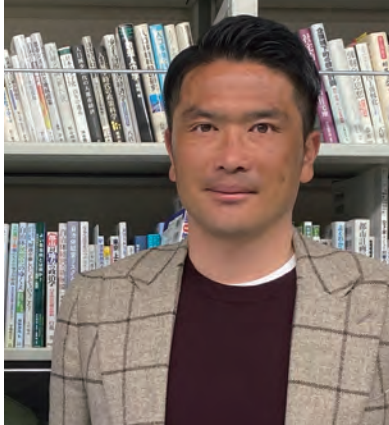
本紙の単独取材を受ける永田学長(3月9日、本部棟で)＝天野隼太撮影

に建設する構想を掲げ、20年度の完成を目指している。だが費用面などの問題からTIBに衣替えした。現在は入居を希望する企業3社と交渉中だという。

大学債は、償還するまでの期間を長く設定することができ、また、金融機関からの借入れとは異なり、分割での返済はせず、利子を毎年払う必要はない。そのため、満期一括償還するまで手元に資金を置くことができる利点がある。

国からの運営費交付金が減少傾向にある中、国立大学は大学債発行の動きを加速させている。

東京大は昨年10月に「東京大学FIS」を発行した。得られた資金は先端的な研究施設や設備の整備に充てられる予定だ。今年3月8日に東京工業大が、同日には大阪大が大学債発行に向け、信用格付けを取得したと発表している。



取材を受ける岩政さん(3月8日、3F棟で)

大学進学の際、小さいときから、他の人と違うことをしたいと思ってきた。昨年、日本サッカー協会のS級ライセンス(Jリーグや日本代表監督となる最高位の指導者資格)を取得できた後、サッカーとは別の新たな学びを求めている中で、選んだのが大学院進学だった。

岩政 大樹(いわまさ・だいき) 1982年生まれ、山口県周防大島町出身。東京学芸大教育学部数学専攻卒業。ポシジョンはセンターバックで、Jリーグ鹿島アントラーズなどで活躍。日本代表としてW杯南アフリカ大会などに選出され、2018年に引退した。今年1月に上武大の男子サッカー部監督とスポーツ健康マネジメント学科学科准教授に就任した。

岩政大樹さん 筑波大大学院入学

「自分だからこそできる社会貢献を」

Jリーグ鹿島アントラーズで活躍したサッカー元日本代表の岩政大樹さん(39)が今春、筑波大大学院社会学部社会学位プログラム博士後期課程に進学した。上武大群馬県伊勢崎市の准教授と男子サッカー部監督を務めており、三足のわらじをはくことになる。本紙の取材に応じた岩政さんは「大学院での学びを通して、サッカーと故郷への恩返しについて掘り下げて考えてみたい」と抱負を語った。

岩政大樹は歴史や文化の重みがあり、学ぶ場所として素晴らしい。大島の子供たちを考えた時、未来に残っていくものを作っていくことが必要だと感じた。そのため、自分が勉強しなくてはならないと思った。大学サッカーの在り方をどう考えていますか。プロに選手を輩出するばかりか、学びも併せ持つ環境は世界的にも独特だ。もう一つ機能していると思う。だが、未来型の部活として残していくことを想像したときに、地域貢献がキーワードになる。

岩政大樹は昨年10月に「東京大学FIS」を発行した。得られた資金は先端的な研究施設や設備の整備に充てられる予定だ。今年3月8日に東京工業大が、同日には大阪大が大学債発行に向け、信用格付けを取得したと発表している。

注目記事

- DX推進 各大学の取り組み
- 「教員数減少を考える」最終回
- 海外の美術大生と作品制作
- 剣道 松崎悲願の日本一
- 「疫病と妖怪」講演会開催

特集

- 青春の通過点
- 学生宿舎はいま 10・11
- ミニ特集
- 紡がれる思い 7
- メッセージソングの今とこれから

筑波お話し

今春、筑波大総合学域群に1期生が入学した。所属する学生は1年間の学びの後、文系理系を問わず、体育専門学群を除くどの学類・専門学群にも移行できる道があるという。実は、彼らがちょっとびっくりするかもしれない「将来は何になりたいですか。幼いころから再三、そう聞かれた。だからどうか、学びたい分野や就きたい職業は早く決めなくちゃいけないと思ってきた。ああそれなのに、比較文化学類に入学して1年。いまだに何がやりたいか分からない。もう1人の自分が「親に学費を出してもらっているのに、目的もなく大学に入ったの？」とききかける▼でも、迷っている中で得た知識や体験は無駄なのか。昨年度春学期はコロナ禍で大学に通えず、田舎で祖母の農作業を手伝った。田畑で汗を流せば流すほど、食卓が自家栽培の作物で埋まっていく。それとともに心も満たされて行くような気がした▼大学新聞で、狩猟免許を取得した女子学生を取材した。現代に生きる自分も、自然の一部から命をいただいている」という言葉に共感した。農作業を体験していたからこそ、素直に受け止められた。幅広い知識や体験が、記事の、そして人間としての深みを増してくれている。実感した▼卒業まであと3年。好奇心のままに学んでみよう。そうすれば、やりたいことが見えてくるのではないかな。今は、そう思っている。

筑波大 在宅勤務制度化目指す

デジタル化 東北大は学内文書の押印全廃

コロナ禍を受け、国や自治体、民間企業は「デジタル化」(デジタルトランスフォーメーション)DX)を積極的に進めている。変化の波は大学にも押し寄せている。東北大は昨年6月、「オンライン事務化宣言」を出し、学内文書の押印廃止などに取り組む。筑波大のデジタル化はどうか。押印廃止や在宅勤務(テレワーク)などについて、現状と今後の方向性を追った。

(工藤和哉) 生物資源学類2年

組織・職員課が結果を取りまとめ、状況を確認する。一律には押印を廃止しない。同課の担当者は「押印廃止で、かえって学生や教職員の負担が増えるようなことは避けたい」と話す。

電子サインの導入を進める。国際室でまず試行し、順次拡大させていく予定だ。

また、来年度以降に、在宅勤務を制度化することを目標としている。また、勤務時間の管理や成果物の確認をどう行つか、自宅の電気



部署ごとに押印廃止検討

筑波大は今年1月から、押印を廃止できる文書の調査を部署ごとに進めている。

また、来年度以降に、在宅勤務を制度化することを目標としている。また、勤務時間の管理や成果物の確認をどう行つか、自宅の電気

業務のデジタル化は各大学で進んでいる	
筑波大	<ul style="list-style-type: none"> 各部署で押印を廃止できる文書の調査 「電子サイン」の試行 来年度以降、在宅勤務の制度化を目指す
東北大	<ul style="list-style-type: none"> 学内文書の押印は全廃 単純な事務作業を代行するソフトを導入 文書のデジタル化も電子決裁と並行して進行。新規に作成する文書は原則電子で作成 テレワークの制度化、フレックスタイム制の導入
北海道大	<ul style="list-style-type: none"> 学長直属の「未来戦略本部」でデジタル化を推進 文書の作成、決裁、管理の一連の流れの電子化を検討。最終的には全文書の電子化を目指す 各部署で押印廃止の取り組みを開始

(取材を基に作成)

筑波大3教授が責任者就任

内閣府ムーンショット研究

内閣府は2月8日、世界を驚かせるような発見や成果を生むことを目指すムーンショット型研究開発制度に採択した研究開発プロジェクト全てで、責任者となるプロジェクトマネージャー(PM)が決まると発表した。同制度は、自ら学習・行動し人と共生するロボットの実現や汎用量子コンピュータの実現など7つの目標を掲げ、計47プロジェクトを実施する。筑波大からは、国際統合睡眠医学研究機構(I-IIS)の柳沢正史機構長と3教授がPMに就任した。

(加藤優花) 国際総合学類4年、工藤和哉

制度の名称は、ケネディが社会の在り方を変えようとして健康不安なく過せる医療・介護システムの創出が目標で、5年間で総額1000億円超の巨費を投入する。柳沢教授は、100歳までPMに就任した。プロジェクト

らは全学で利用する予定だ。

同大は既に実施したデジタル化で、業務時間を年間4万7000時間削減できると見込んでいる。

同大の担当者は「コロナ禍が従来の業務を見直すきっかけになった」と語った。

更に同大は今年度からテレワークを制度化し、フレックスタイム制も導入する。全職員が両制度を利用できる。

北大 学長直属で推進

北海道大は昨年11月、業務のデジタル化など同大の課題を検討する「未来戦略本部」(本部長は宝金清博学長)を設置した。事務業務や働き方の課題を洗い出し、DXによる解決を目指す。DXを本部内に設け、押印廃止やテレワーク支援などの検討を進めている。

また、文書の作成・決裁・管理の一連の流れの電子化を検討している。担当者は「最終的に全ての文書を電子化したい」と話した。

また、未利用の生物機能などの活用で、持続的な食料供給産業を創出する「目標5」のプロジェクトでは、大澤良教授(生環系)と中嶋光敏特命教授(同)がPMに選ばれた。

大澤教授は、地球温暖化に伴う環境変動に適応可能な作物の迅速な開発に取り組む。現在、新品種の開発には10年単位の時間がかかり、急激な環境変動には対応できない。だが、野生植物の持つ環境に対する強靱さのメカニズム(関係する遺伝子群)を解明し、人工知能(AI)を利用して遺伝子の組み合わせを最適化し、ゲノム編集技術などを

つくば市 先端技術で利便性向上へ

スーパーシティ特区 指定目指す

つくば市は人工知能(AI)など先端技術を活用し、まちづくりを目指す政府の「スーパーシティ型国家戦略特別区域」に応募する。その土台となる「つくばスーパーサイエンスシティ構想」を4月中旬に政府に提出する予定だ。政府は自治体から出された構想を専門調査会などで審査し、対象区域を5カ所程度決める。特区に名乗りを上げるライバル都市は多い。つくば市は指定を勝ち取れるのか、注目される。

同特区は、自治体が掲げる未来の都市像の実現に向け、AIやビッグデータを活用し、移動や医療など幅広い分野で利便性の向上を図る制度だ。指定されると、法令上の規制が緩和され、国による関連事業への財政支援も受けられる。

市の構想では①行政②移動③物流④医療・介護⑤防災・防災・インフラの5分野で先端的なサービスの導入を掲げる。具体的に、行政情報を集約し多言語で提供するポータルアプリの構築や、自動運転車のオンデマンド配車などの実現を目指すという。

市は構想の策定を進める中で1月25日、筑波大を含む計51の大学や研究機関、民間企業を連携事業者に指定した。連携事業者は市とともに構想の立案や実現に取り組む。

筑波大は2月25、26日、一般選抜(旧一般入試)の前期日程を実施した。このうち、初めての募集となった総合選抜(募集人員413人)では、438人が合格した。志望者数は1134人で、志願倍率は2.7倍だった。

総合選抜は2021年度入試から一般選抜の前期日程で導入された。▽文系▽理系▽理系Ⅱ▽理系Ⅲの四つの大まかな区分で入試を実施する。募集人員は、前期日程の約3割を占める。合格者は総合学域群に所属した後、2年次に体育専門学群以外の学類・専門学群に移行する。これまで前期

中嶋特命教授は「フードロスの削減と生活の質の向上を同時に実現する食品製造システムの実現を図る。規格外野菜など、消費されずに廃棄される食材を顆粒にし、3Dプリンターで食品として加工する。その際、AIを使い、栄養分や味を調整する。先進国向けには、個人のニーズに

初の「総合選抜」倍率は2.7倍

筑波大は2月25、26日、一般選抜(旧一般入試)の前期日程を実施した。このうち、初めての募集となった総合選抜(募集人員413人)では、438人が合格した。志望者数は1134人で、志願倍率は2.7倍だった。

(天野隼太、14面に関連記事)

日程で実施していた、所属先を決めて出願する方式は「学類・専門学群選抜」となった。アドミッションセンター長の谷袋教授(人間系)は「新型コロナウイルスの影響で十分に広報活動ができなかった。できていれば更に志願者は増えたのではないかと分析した。学類・専門学群選抜(募集人員897人)では、944人が合格した。志望者数は3040人で志願倍率は3.4倍だった。また、前期日程全体の志願倍率は3.2倍(前年度3.4倍)だった。

筑波キャンパス関連

20年度 新型コロナ陽性者12人

昨年4月から今年3月16日までの約1年間に筑波大が把握した、学生・教職員で症状がある新型コロナウイルス陽性者(附属病院や東京キャンパス関係などを除く)は12人だった。新型コロナウイルス感染症リスク対応チーム代表だった稲垣敏之副学長(総務・人事担当)が本紙の取材で明らかにした。

12人中7人は帰省先など学外で確認されたもので、学内への入構はなかった。残りの5人は感染可能期間に大学への入構があった。だが、学内に濃厚接触者が確認された事例は一例にとどまり、PCR検査の結果、濃厚接触者は全員陰性だった。これらの2例は学内向けに周知されている。

稲垣副学長は「学内で感染が広がっていないのは、学生や教職員が(大学の指示を)きちんと守ってくれているからだ。引き続き気を抜かないでほしい」と語った。

(後藤佳佳) 社会学類4年、西村大祐

筑波大は今年1月から、押印を廃止できる文書の調査を部署ごとに進めている。また、来年度以降に、在宅勤務を制度化することを目標としている。また、勤務時間の管理や成果物の確認をどう行つか、自宅の電気

この地震で、筑波大の施設に被害はなく、学生や教職員の被災報告はなかったが、中央図書館の書籍680冊が落下した。このうち130冊が破損し、修復が必要となった。作業には2.5カ月かかる見込みで、外部に修復を委託する数冊は更に時間がかかるという。

リスク安全管理課によると、ANPICは地震6弱以上の地震が茨城、東京、神奈川、埼玉、千葉の1都4県で発生した際に自動で安全確認メールを一斉送信する設定になっており、今回は該当しなかった。(寺尾優汰) 比較文化学類2年

福島県沖地震 つくばで震度4

2月13日午後11時7分、福島県沖を震源とする地震が発生した。宮城県やつくば市でも震度4を観測した。地震の規模を示すマグニチュード(M)は7.3と推定された。昨年11月から運用が開始された安否確認システム「AN

筑波大とペルー国立サンマルコス大は2月9日、互いの大学に交流拠点を設置した。開所式も同日オンラインで開催された。これで、

筑波大は今年1月から、押印を廃止できる文書の調査を部署ごとに進めている。また、来年度以降に、在宅勤務を制度化することを目標としている。また、勤務時間の管理や成果物の確認をどう行つか、自宅の電気

また、筑波大は外国人学生の日本への留学を支援する文部科学省の「日本留学海外拠点連携推進事業」で南米地域を担当しており、活動拠点としてペルーへのオフィス設置を決めた。筑波大に今回設置されたサテライトオフィスは、南米への留学の相談窓口となる。一方、ペルーのオフィスでは、ペルーから日本への留学相談を受け付ける。両施設では留学フェアや学術・文化交流ワークショップなども開催する。(三橋美音) 教育学類2年

20年度 新型コロナ陽性者12人

筑波大は今年1月から、押印を廃止できる文書の調査を部署ごとに進めている。また、来年度以降に、在宅勤務を制度化することを目標としている。また、勤務時間の管理や成果物の確認をどう行つか、自宅の電気

この地震で、筑波大の施設に被害はなく、学生や教職員の被災報告はなかったが、中央図書館の書籍680冊が落下した。このうち130冊が破損し、修復が必要となった。作業には2.5カ月かかる見込みで、外部に修復を委託する数冊は更に時間がかかるという。

リスク安全管理課によると、ANPICは地震6弱以上の地震が茨城、東京、神奈川、埼玉、千葉の1都4県で発生した際に自動で安全確認メールを一斉送信する設定になっており、今回は該当しなかった。(寺尾優汰) 比較文化学類2年

ペルーにサテライトオフィス

筑波大は今年1月から、押印を廃止できる文書の調査を部署ごとに進めている。また、来年度以降に、在宅勤務を制度化することを目標としている。また、勤務時間の管理や成果物の確認をどう行つか、自宅の電気

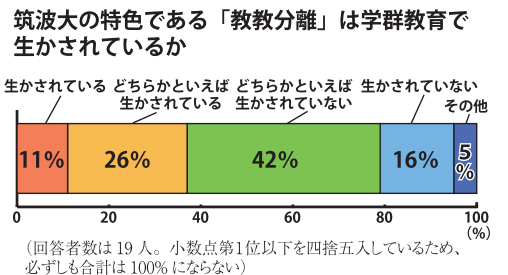
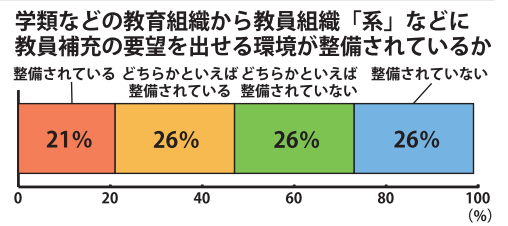
また、筑波大は外国人学生の日本への留学を支援する文部科学省の「日本留学海外拠点連携推進事業」で南米地域を担当しており、活動拠点としてペルーへのオフィス設置を決めた。筑波大に今回設置されたサテライトオフィスは、南米への留学の相談窓口となる。一方、ペルーのオフィスでは、ペルーから日本への留学相談を受け付ける。両施設では留学フェアや学術・文化交流ワークショップなども開催する。(三橋美音) 教育学類2年

また、筑波大は外国人学生の日本への留学を支援する文部科学省の「日本留学海外拠点連携推進事業」で南米地域を担当しており、活動拠点としてペルーへのオフィス設置を決めた。筑波大に今回設置されたサテライトオフィスは、南米への留学の相談窓口となる。一方、ペルーのオフィスでは、ペルーから日本への留学相談を受け付ける。両施設では留学フェアや学術・文化交流ワークショップなども開催する。(三橋美音) 教育学類2年

また、筑波大は外国人学生の日本への留学を支援する文部科学省の「日本留学海外拠点連携推進事業」で南米地域を担当しており、活動拠点としてペルーへのオフィス設置を決めた。筑波大に今回設置されたサテライトオフィスは、南米への留学の相談窓口となる。一方、ペルーのオフィスでは、ペルーから日本への留学相談を受け付ける。両施設では留学フェアや学術・文化交流ワークショップなども開催する。(三橋美音) 教育学類2年

教員減予算再配分で抑制 教育充実に「教教分離」活用を

筑波大の特色の一つが学群・学類など教育組織と系など教員組織の分離だ。複数の分野の研究者が連携し、学際的な教育や研究に取り組みやすいとされる。本紙が全学類・専門学群長に実施したアンケートでは、「授業で文系・理系の教員が交流しやすい」という意見が出た一方で、特色が十分に生かされていないという回答も。筑波大の常勤教員数は2015年度の1935人から18年度に1803人に減少した後、回復傾向にあるが、教育の一層の充実に、「教教分離」の更なる活用が問われてきた。



学類を超えた連携を
教教分離が学群教育に生かされているかどうかを聞いた質問では、「生かされている」「どちらかといえば生かされている」と答えた学類・専門学群長が計7人、「生かされていない」「どちらかといえば生かされていない」が計11人だった。教教分離では制度上、教員が教育組織の壁を超えて授業や指導をできる。国際総合学類では、人文社会科学とシステム情報系の教員が授業を担当している。学類長の潘亮教授(人社会系)は「もともと文理融合型の教育が行われている学類で、会議などでシステム情報系の教員と日常的に交流している。授業でも協力しやすいため、学類長は「学類間の連携が、学類長はしていない」と語る。

新任人事

成学類(学創) 知識情報・図書館学類(知識) 医学群 医学類(医学) 看護学類(看護) 医療科学類(医療) 体育専門学群(体育) 芸術専門学群(芸術) 総合学域群 第1学群(第1類) 第2類(第2類) 第3類(第3類) 第4類(第4類) 第5類(第5類) 第6類(第6類) 第7類(第7類) 第8類(第8類) 第9類(第9類) 第10類(第10類) 第11類(第11類) 第12類(第12類) 第13類(第13類) 第14類(第14類) 第15類(第15類) 第16類(第16類) 第17類(第17類) 第18類(第18類) 第19類(第19類) 第20類(第20類) 第21類(第21類) 第22類(第22類) 第23類(第23類) 第24類(第24類) 第25類(第25類) 第26類(第26類) 第27類(第27類) 第28類(第28類) 第29類(第29類) 第30類(第30類) 第31類(第31類) 第32類(第32類) 第33類(第33類) 第34類(第34類) 第35類(第35類) 第36類(第36類) 第37類(第37類) 第38類(第38類) 第39類(第39類) 第40類(第40類) 第41類(第41類) 第42類(第42類) 第43類(第43類) 第44類(第44類) 第45類(第45類) 第46類(第46類) 第47類(第47類) 第48類(第48類) 第49類(第49類) 第50類(第50類) 第51類(第51類) 第52類(第52類) 第53類(第53類) 第54類(第54類) 第55類(第55類) 第56類(第56類) 第57類(第57類) 第58類(第58類) 第59類(第59類) 第60類(第60類) 第61類(第61類) 第62類(第62類) 第63類(第63類) 第64類(第64類) 第65類(第65類) 第66類(第66類) 第67類(第67類) 第68類(第68類) 第69類(第69類) 第70類(第70類) 第71類(第71類) 第72類(第72類) 第73類(第73類) 第74類(第74類) 第75類(第75類) 第76類(第76類) 第77類(第77類) 第78類(第78類) 第79類(第79類) 第80類(第80類) 第81類(第81類) 第82類(第82類) 第83類(第83類) 第84類(第84類) 第85類(第85類) 第86類(第86類) 第87類(第87類) 第88類(第88類) 第89類(第89類) 第90類(第90類) 第91類(第91類) 第92類(第92類) 第93類(第93類) 第94類(第94類) 第95類(第95類) 第96類(第96類) 第97類(第97類) 第98類(第98類) 第99類(第99類) 第100類(第100類)

40年度までに若手3割へ

筑波大は14年度から教員の雇用予算をポイントに変換し、教員所属組織に分配的に再配分する「全学戦略ポイント」を始めた。国からの運営費交付金が削減され、教員の人員費も減少傾向にあるが、この制度の下で段階的に導入された三つの新施策が教員数を減少に歯止めをかけた。16年度に始まったのが各系に配分したポイントの1割を回収し、若手や女性、外国人教員の増加などを目標とする「全学戦略ポイント」だ。17年度には、系などが提案する分野拡充方策の中から本部が支援対象を選考し、それに必要なポイントを再配分する「戦略的分野拡充ポイント」だ。20年度には、系などが提案する分野拡充方策から本部が選考し、削減したポイントの一部を再配分する「循環型戦略管理ポイント」だ。20年度開始

各ポイント制度の概要

- 全学戦略ポイント**
 - 若手や女性、外国人教員の増加などを目標とする
 - 各系に配分したポイントの1割を回収し、再配分
 - 2016年度開始
- 戦略的分野拡充ポイント**
 - 系などが提案する分野拡充方策から本部が選考
 - 削減したポイントの一部を再配分
 - 2017年度開始
- 循環型戦略管理ポイント**
 - 教員が退職する最大2年前に新規教員を雇用
 - 大学本部が独自に抽出したポイントを活用
 - 2020年度開始

(筑波大への取材を基に作成)

学類から系への要望体制に課題

本紙のアンケートで、教教分離の課題も浮かんできた。調査は2月26日に全学類・専門学群長25人に電子メールで質問内容を送付する形式で実施。3月6日までに全体の76%にあたる19人の学類・専門学群長から回答を得た。「教育組織は「系」など教員組織に教員の補充に関する要望を出せる環境が整備されているか」という質問に、21%が「整備されている」と答えた。一方、26%が「どちらかといえば整備されている」と、26%が「どちらかといえば整備されていない」と、26%が「整備されていない」と答えた。学類長が計9人、「生かされていない」「どちらかといえば生かされていない」が計10人で、評価が分かれた。

学類を超えた連携を

教教分離が学群教育に生かされているかどうかを聞いた質問では、「生かされている」「どちらかといえば生かされている」と答えた学類・専門学群長が計7人、「生かされていない」「どちらかといえば生かされていない」が計11人だった。教教分離では制度上、教員が教育組織の壁を超えて授業や指導をできる。国際総合学類では、人文社会科学とシステム情報系の教員が授業を担当している。学類長の潘亮教授(人社会系)は「もともと文理融合型の教育が行われている学類で、会議などでシステム情報系の教員と日常的に交流している。授業でも協力しやすいため、学類長は「学類間の連携が、学類長はしていない」と語る。

組織の略称

【学群・学類】学士課程学位プログラム(人文・文化学群) 人文学類(人文) 比較文化学類(比文) 日本語・日本文学学類(日語) 社会・国際学類(社会) 国際総合学類(国際) 人間学群 教育学類(教育) 心理学類(心理) 障害科学類(障害) 生命環境学群(生物) 生物資源学類(資源) 地球学類(地球) 理工学群(工学) 物理学類(物理) 化学類(化学) 応用理工学類(理工) 工学システム学類(工学) 社会工学類(社工) 情報学群(情報) 情報メディア学類(情報) 情報科学類(情報) 情報メディア学類(情報)

「外国人学生数に根拠」 筑波大 T H E社の照会に説明

英教育専門誌タイムズ・ハイヤー・エデュケーション(T H E)が発表する世界大学ランキングの世界版と日本語版で筑波大の外国人学生数が異なっていることについて、筑波大は3月18日の定例記者会見で説明した。永田恭介学長は「世界版と日本語版ではT H Eの外国人学生の定義が異なるためだ。数字には根拠がある」と話した。筑波大がT H E社に提出した外国人学生数は、世界版が33336人(2021版)、日本語版が21002人(2020版)となっている。説明によれば、世界版はT H Eの定義を使って数字を算出した。正規の学生に加え、短期の留学生なども一定の比率で換算し、学生数に加えている。

具体的には、研究生や交換留学生にあたる「特別聴講生」と「特別研究学生」は1人とカウントした。科目等履修生は0.34人と換算し、学生数に算入した。指定国立大学法人申請の際も、海外の有力大学と比較するため、世界版のデータを参考にしている。

永田学長は「外国人学生数の計算に使用した数字は省の学校基本調査に基づき、指定国立大学法人の申請要件として使われた数字は、公表されている数字を用いて文科省側で算定したものだ。一方、申請書の中の将来計画は筑波大自身のための指標であり、海外ベンチマーク大学との比較を行うため世界版の数字を用いた」と語った。

一方、日本語版に提出した外国人学生数は、文科省の学校基本調査に基づき、正規の学生数を報告している。日本語版のランキング発表が始まった17年から継続している。データの連続性を重視したことに加え、T H Eの日本語版のフォーマットが交換留学生などに対応していないことも理由だという。そのため、世界版と日本語版で生じる結果となった。

T H E社から今年1月、外国人学生数のずれについて、筑波大に問い合わせがあり、協議中だという。

教職員有志による「筑波大学の学長選挙を考える会」は2月10日、この問題の調査を求める要望書を文科省に提出した。萩生田光一文科相は同日「ずれは数え方の違いであり、不備はない」と話し、指定国立大学法人の指定にも問題はなかったとの認識を示した。(西村大祐 大和祐彦)

【副学長】教育担当 加藤光保▽研究担当 和田洋▽学生担当 太田圭▽総務人事・情報環境担当 加藤和彦▽企画評価・広報担当 附属図書館長 池田潤▽附属学校教育局教育長 溝上智恵子

【系長】人文社会科学系 関根久雄▽ビジネスサイエンス系 大石和彦▽数理物質系 服部利明▽システム情報系 吉瀬章子▽生命環境系 大澤良▽人間系 井田仁康▽芸術系 野中勝利▽医学医療系 長川上康▽図書館情報メディア系 長森茂

【大学執行役員】教育デザイン担当 坪内孝司

【学群・学類長】(社会・国際学群) 学群長 土井隆義(人社会系) 生命環境学群 学群長 中田和(生環) 情報学群 学群長 中田和(情報) 学類長 西海沙織(図情メ系) 芸術専門学群 学群長 田中佐代子(芸術)

【教育研究施設の長】地中海・北アフリカ研究センター 長 柏木健一(人社会系) 西アジア文明研究センター 長 山田重郎(同) 研究基盤総合センター 長 上殿良(数物系)

【附属学類長】附属小学校長 佐々木昭弘▽附属視覚特別支援学校長 星拓子

【学類】(知識) 知識情報・図書館学類(知識) 医学群 医学類(医学) 看護学類(看護) 医療科学類(医療) 体育専門学群(体育) 芸術専門学群(芸術) 総合学域群 第1学群(第1類) 第2類(第2類) 第3類(第3類) 第4類(第4類) 第5類(第5類) 第6類(第6類) 第7類(第7類) 第8類(第8類) 第9類(第9類) 第10類(第10類) 第11類(第11類) 第12類(第12類) 第13類(第13類) 第14類(第14類) 第15類(第15類) 第16類(第16類) 第17類(第17類) 第18類(第18類) 第19類(第19類) 第20類(第20類) 第21類(第21類) 第22類(第22類) 第23類(第23類) 第24類(第24類) 第25類(第25類) 第26類(第26類) 第27類(第27類) 第28類(第28類) 第29類(第29類) 第30類(第30類) 第31類(第31類) 第32類(第32類) 第33類(第33類) 第34類(第34類) 第35類(第35類) 第36類(第36類) 第37類(第37類) 第38類(第38類) 第39類(第39類) 第40類(第40類) 第41類(第41類) 第42類(第42類) 第43類(第43類) 第44類(第44類) 第45類(第45類) 第46類(第46類) 第47類(第47類) 第48類(第48類) 第49類(第49類) 第50類(第50類) 第51類(第51類) 第52類(第52類) 第53類(第53類) 第54類(第54類) 第55類(第55類) 第56類(第56類) 第57類(第57類) 第58類(第58類) 第59類(第59類) 第60類(第60類) 第61類(第61類) 第62類(第62類) 第63類(第63類) 第64類(第64類) 第65類(第65類) 第66類(第66類) 第67類(第67類) 第68類(第68類) 第69類(第69類) 第70類(第70類) 第71類(第71類) 第72類(第72類) 第73類(第73類) 第74類(第74類) 第75類(第75類) 第76類(第76類) 第77類(第77類) 第78類(第78類) 第79類(第79類) 第80類(第80類) 第81類(第81類) 第82類(第82類) 第83類(第83類) 第84類(第84類) 第85類(第85類) 第86類(第86類) 第87類(第87類) 第88類(第88類) 第89類(第89類) 第90類(第90類) 第91類(第91類) 第92類(第92類) 第93類(第93類) 第94類(第94類) 第95類(第95類) 第96類(第96類) 第97類(第97類) 第98類(第98類) 第99類(第99類) 第100類(第100類)

反射鏡

新入生へのアドバイス

新入生が入学し、筑波大生としての生活をスタートさせる時期。昨年はコロナ禍で例年通りのキャンパスライフとはならなかった。先輩として、授業や課外活動などの観点からどんなアドバイスを一年生に送るのか。第二エリアやカスミ筑波大学前などで、またオンライン会議システムを利用して聞いた。(及川千翔 細井真生 人文文学類2年、山田優芽 比較文化学類2年、北川瑠菜 同3年、車谷郁美、半田実乃理 社会学類2年、工藤和哉 生物資源学類2年)

は、自己管理が大事だ。自分は昨年春に欲張ってたくさん履修したものの、課題に手が回らず単位を一つ落としてしまった。C評価の成績も多かった。

【人文2年・女性】

ウェブで他大学の公開授業を受けたり、学生による自主研究発表会に参加したりして、興味のある学問分野の知識を深めている。入学したばかりの頃は、授業や課題に追われて受動的になっていた。主体的に学ぶようになってからは、研究熱心な先輩からも刺激を受け充実している。

【人文2年・男性】

授業の資料のダウンロードや課題提出に使う学習管理システム「manaba」の通知は必ず確認すべきだ。友人の中には、manabaの情報を見逃して授業を受けることができなかった。

【教育2年・男性】

友人はいるに越したことがない。昨年度の春学期は、全てオンライン授業で、人々と関わらざる状態になった。その分、SNSでの友達つくりの力を入れた。学凹凸が激しく、タイヤがパニックしやすい。空気をうまく入れると、パンクが起きない。

【教育2年・女性】

同じ学類・専門学群で固まらず、他の所属の人とも交流すべきだ。総合大学である筑波大の強みは、多様な学生がいること。自分は医学部以外の学生が多いサークルに入っているが、関心ある分野や価値観が異なる人と交流できて、視野が広がった。

【社会学2年・男性】

実家から通学している。大学周辺に住む人同士の方が仲良くなれる機会が多くなる。実家からはコミュニケーションに入りづらいと感じてはならない。生命線だ。ではならない。朝食をきちんと食べると、元気になる。

【社会学2年・女性】

平砂学生宿舎に2年住んでいる。友達を作りやすく家賃も安いので気に入っている。ただ狭くて収納が限られるので、棚などを自分でスペースを有効活用した方がいい。

私生活

【社会学2年・女性】

去年度はオンライン授業が大変だった。ずっと室内にいて、夜遅くに課題をするようになり、生活リズムが崩れがちだった。そんな時は、朝食が楽しみになるよう、少し高級なメニューを用意し、起床できるようにした。朝食をきちんと食べると、元気になる。

【社会学2年・男性】

広い筑波キャンパスを移動するには、自転車は欠かせない。自転車はなくてもいい。空気をうまく入れると、パンクが起きない。

【教育3年・男性】

授業や課外活動などさまざまな場面で、周囲の人が立派に見える。劣等感にさいなまれることがあると思きにくくなる。

【人文2年・女性】

1人暮らしをしている。部屋にゴキブリが出た時は気持ちが悪くて部屋にいられず、ベンチで野宿した。ゴキブリ対策は必須だ。

【人文3年・女性】

みんな似た悩みを抱えているのだと気がついた。自分は学閥発行委員会で備品管理の責任者を経験した。全備品の情報が詰まった膨大なデータをミスなく処理するのは大変だったが、責任の重い仕事をこなす際の心構えや、裏方の業務の重要性を学べた。

課外活動

【EMPS5年・男性】

今まで2回起業した。筑波大には学生起業家を応援する雰囲気があり、国際産学連携本部では、起業の基本や経営者の話を聞くことができる講義などが開講されている。誰でも自由に受講できるため、興味がある人は試しに参加して情報を集めてみるという。

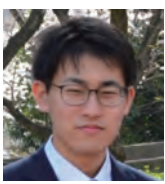
【知識3年・男性】

サークルや委員会、バイトなど組織の中で、何か責任ある役割に挑戦すること。みんな似た悩みを抱えているのだと気がついた。自分は学閥発行委員会で備品管理の責任者を経験した。全備品の情報が詰まった膨大なデータをミスなく処理するのは大変だったが、責任の重い仕事をこなす際の心構えや、裏方の業務の重要性を学べた。

【人文4年・男性】

新しいコロナの影響で通常の活動ができない団体もある。運動部の知人は、キャリアに関わる大事な大会が中止になってしまいい、かわいそうだった。サークル選びの際には一つの団体にこだわらずにいろいろな団体が活躍できるように心がけると、コロナ禍でも活動の幅が広がるだろう。

記者の声



木村 誠

学生時代、日本近代史を専攻した。卒業論文の執筆では国立国会図書館や国立公文書館、各地の公文書館へ足を運び、史料調査をした。当時の公文書からは、政策の決定過程などを知ることができた。

「歴史とは(中略)現在と過去の間の足跡を知らぬ対話なのであります」。歴史家のE・H・カーが残した言葉は、まさにその通りだと実感した。ただ、「対話」できない場合もあった。太平洋戦争中に作成された公文書は、終戦時にその

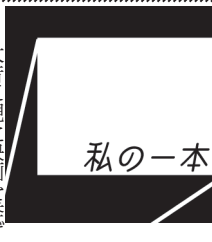
多くが処分されてしまった。悔しさとともに、文書管理・保存する大切さをひしひしと感じた。現在はどうか。第2次安倍内閣では、学校法人「森友学園」への国有地売却を巡る決裁文書の改ざん、「桜を見る会」の招待者名簿の廃棄など、公文書管理のずさんさが目立っていた。加えて、「説明責任」をおろそかにしていた印象もある。

一部教員から、手続きが不適切だなどの批判があった。情報を積極的に公開し、共有していくことが、疑念を持たれないためにも重要だ。その上で、後世の検証に耐え得る記録を適切に保存することが求められる。筑波大は2016年、筑波大とその前身

校の公文書などの受け入れや保存、調査研究などを担う組織として「筑波大学アーカイブズ」を設立した。公文書管理法に基づき国立公文書館に類する施設として、内閣総理大臣の指定を受けている。同様の施設を持つ国立大は多くない。設立から5年となるが、予算や人員を増強するなど、取り組みに一層力を入れている。

同時に、教職員の公文書管理の意識を更に高めていくことも必要だろう。研修などを通じて「健全な民主主義の根幹を支える国民共有の知的資源」(公文書管理法)を扱っていることを全教職員が認識してほしい。政府は昨年、公文書管理法を度人文文学類卒業生(現全国紙記者)

私の一本



大昔に観た映画を挙げて「衝撃を受けた」などと書くのは、その後映画を大して観ていないか、読書の少ない初心者にいきなり古典を薦めてマウンティングを図るようなもの。あるいは、後からこのつけによる著者の人生のサクセス・ストーリー構築なのかな、と思う。そうしたものもいろいろあるかもしれないが、今回はかなり新しい映画を挙げることにしたい。

観ていない人にこの映画の内容を聞いてみて、説明すると、次のように書ける。妻を亡くした父親が持つダッチワイフに恋してしまっただけで、父親と大げんかした揚句、精巧に作られてはいない。むしろ、後からこのつけによる著者の人生のサクセス・ストーリー構築なのかな、と思う。そうしたものもいろいろあるかもしれないが、今回はかなり新しい映画を挙げることにしたい。

思えば大学院生時代に後輩が4本のVHSテープにまとめて録音していたテレビシリーズを、この監督が高校時代に作った。風景までさらさらと、観客に手の内を明かすサービスマンも、この映画は終わる。

実はこの映画、小4の息子と観に行った。このコンテンツの古くからの付き合いを考えると、息子の成長が間に合ったのは少し意外だった。その



イラスト=半田実乃理(社会学類2年)

「シン・エヴァンゲリオン劇場版:III」庵野秀明 総監督

画の内容を聞いてみて、説明すると、次のように書ける。妻を亡くした父親が持つダッチワイフに恋してしまっただけで、父親と大げんかした揚句、精巧に作られてはいない。むしろ、後からこのつけによる著者の人生のサクセス・ストーリー構築なのかな、と思う。そうしたものもいろいろあるかもしれないが、今回はかなり新しい映画を挙げることにしたい。

ういさ、自分が映画館で初めて観た映画「ガンダムIII」も小4のときだった。大丈夫だろう(ただ彼はすでに私と映画館で20本くらい観ている)。ダッチワイフ云々はさすがに小学生の子どもの説明しづらいけれど、既に述べたように、話としてはかなりの単純明快である。化学反応式めいた細かい設定の数々のほかに興味を持つかどうかは彼次第だ。

私にとっての「ガンダムIII」と同じように、これが将来息子にとっての「私の一本」になるだろうか。それも彼次第。ともあれきちんと親子が親子で観て来ていること自体も含めて、ともに楽しめるもの、つまり「子ども連れ大人向け映画」になっていることも、ここで挙げる理由である。(本作品は2021年3月公開)

集大成の場 卒業公演

コロナ禍での実施判断分かれ

コロナ禍は課外活動の集大成となる卒業公演や定期演奏会も直撃した。筑波大でも公演中止が相次ぎ、実施した学生団体も無観客開催などを迫られた。旅立ちの季節に、難しい判断を迫られた姿を紹介する。

(北川瑠菜Ⅱ比較文化学類3年、小栗あおいⅡ社会学類2年、及川千翔)



公演の様子=筑波大学ミュージカル集団 ESSASSA 提供

筑波大学津野三味線倶楽部無絃の卒業公演は三味線や琴などの和楽器、ソングなどの舞踊といった日本の伝統芸能を総合的に紹介してきた。23回目の今年は一昨年同様、パホール(つくば市吾妻)で開催予定だった。約1年前に会場を予約した。曲目は民謡「津軽まきれ節」から「島人ぬ宝」などのJポップまで幅広く、約20曲を準備した。筑波大が昨年12月に団体での課外活動自粛を再要請して以降は、オンラインでミニコンサートを重ねた。だが、1月18日に茨城県が独自の緊急事態宣言を出したことで、パホールも臨時休館となり、公演中止を余儀なくされた。

出演予定だった池田遥香さん(障害学前期1年)は「卒業公演は憧れの舞台で、活動の最終目標だった。残念だ。早く新型コロナが収束して後輩たちが元通りの活動ができることを願っている」と話した。筑波大学ミュージカル集団 ESSASSAは卒業公演「ロミオ&ジュリエット」を3月4〜7日に7A棟で無観客開催した。昨年の卒業公演はコロナ禍で中止に。今年は形だけでも残したいと、同7月には無観客での開催を決めており、出演者はマウスシールドを着用して演技した。

代表の高岡乃さん(心理学3年)は「簡易的な形とはいえ実施することができて本当に良かった。今後の活動を見直すきっかけにもなった」と語った。卒業・修了制作展 感染対策講じ実施 筑波大の「令和2年度芸術専門学群卒業制作展」博前期課程芸術専攻修了制作展が2月9日から3月5日まで開かれた。例年の会場は茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)だが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会場を学内に移し、一部はオンラインでの開催となった。オンライン開催となったのは美術史領域と芸術支援領域の卒業論文・修士論文発表会。洋画や日本画、書など10領域の卒業制作と6領域の修了制作は総合交流会館や6A・B棟などを会場とし、観覧は学内関係者に限った。同展覧会に向けた準備は昨年6月から進められており、同12月には美術館で開催する方針を固めていた。だが、1月18日から発令された茨城県独自の緊急事態宣言を受け、学内開催に切り替えた。総括を務めた佐藤次一さん(芸術前期1年)は、「多くの来場者が見込める美術館で開催できなかったことは残念だが、学内開催は多くの方の理解と協力があったからこそできた。感謝の気持ちの方が大きい」と振り返った。

千葉洗里さん(令和2年度芸術専攻修了)は、2月16〜19日に6A棟208室で開催されたクラフト(工芸)領域に「ceramic redrawing」と題した作品を出展した。ひも状に伸ばした白い粘土を重ねて立体化した作品で、粘土の凹凸をそこに切り込まれた線が特徴的だ。入試前の構想段階で描く素描(ドローイング)の線の動きを表現したという。光の具合によって線の濃淡が変わるよう、彫りの深さを工夫した。千葉さんは「ペンで描いた線が陶器という素材によって立体になる面白さを味わってほしい」と語った。(山田優芽、16面に関連写真)

落合陽一准教授(図情メ系的)の授業「メディアアート」を受講した学生17人の作品を紹介する「じんせいヲ狂わせた展」が2月12日から2月19日まで、つくば市吾妻のつくば美術館で開催された。落合陽一准教授(図情メ系的)の授業「メディアアート」を受講した学生17人の作品を紹介する「じんせいヲ狂わせた展」が2月12日から2月19日まで、つくば市吾妻のつくば美術館で開催された。

CAIR2021

海外美大生と制作

海外の美術大生と筑波大芸術専門学群生が一緒に作品を制作する「CAIR2021」(主催・筑波大教育戦略推進プロジェクト、芸術系)が2月から3月にかけて開かれた。2月8〜22日に制作の様子をソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)やYouTubeで公開。作品は3月15〜19日に筑波大総合研究棟D1階ギャラリで展示され、ウェブサイトでも公開された。3回目となった今年のテーマは「CORRELA

TE(相関する)。芸術専門学群の学生5人と英国、オーストラリア、フィンランド、シンガポール、トルコの美大生5人の計10人が参加した。筑波大生と海外の美大生はペアを組んだ。また、両者を補助する芸術専門学群の学生キュレーターが一つのペアに2人つき、4人1組のチームを作った。海外の美大生は例年、来日して作品を制作する。しかし、今年はコロナ禍のため来日できず、日本と海外をオンラインで結んで進行状況を報告し合った。出来上がった海外美大生の作品の一部は空輸し展示された。

また、期間中には各チームによるワークショップや座談会などの企画がオンラインで行われた。山下葵さん(芸術専4年)とローズ・ロフソンさん(英国ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン)は2月15日、妖怪をモチーフにしたマスクを作るワークショップ「マスクのペーパーアート」を開催した。参加者は事前に用意した草花や鳥の羽などを不織布の内部に、目を閉じた少

女の姿が描かれている。山下さんは「よく制作のモチーフとする少女の姿を通して、自身の心の内側を表現した」と話す。山下さんとペアを組んだローズさんは鳥の羽を用いた彫刻「カルラ」を制作した。頭が鳥の体が人の姿をした仏教の守護神から影響を受けたという。

山下さんは自身の作品について「リアルな素材を作品に利用したのは、ローズさんの影響があったから。普段は絵画の制作を主としていたが、絵画ではない作品を制作することで、自分の可能性を広げられた」と振り返った。(半田実乃理Ⅱ社会学類2年、写真も)

また、期間中には各チームによるワークショップや座談会などの企画がオンラインで行われた。山下葵さん(芸術専4年)とローズ・ロフソンさん(英国ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン)は2月15日、妖怪をモチーフにしたマスクを作るワークショップ「マスクのペーパーアート」を開催した。参加者は事前に用意した草花や鳥の羽などを不織布の内部に、目を閉じた少

入試前の構想段階で描く素描(ドローイング)の線の動きを表現したという。光の具合によって線の濃淡が変わるよう、彫りの深さを工夫した。千葉さんは「ペンで描いた線が陶器という素材によって立体になる面白さを味わってほしい」と語った。(山田優芽、16面に関連写真)

手紙

高校生の頃から漫画家を目指していました。新入賞を受賞し、読み切りを何本か掲載しその実績をイラストをまもめて、AC入試で筑波大芸術専門学群に入りました。高校時代は成績もよくなかった上に単位も漫画の締め切りに追われギリギリで、大学進学はお金もないので国立以外は厳しいと考えていたのですが、まあおバカだったの

沼野千秋さん(芸術専3年)の「doubt」は、美男美女とされる各国の著名人の顔を合成し、更にモザイク処理してぼかした画像をマスクに転写した作品だ。沼野さんは「この画像は誰なのかと妄想する高揚感を、私たちが大きく狂わせたい象徴である『マスク』に投影した」という。マスクを着けると顔の下半分が隠される。沼野さんは「人間はその部分に、自分の理想を当てはめて想像しがちだ。そんな人間の心理にも注目してほしい」と自作の狙いを語った。(中山友香Ⅱ生物学類2年)

賞を受賞した時点で真っ白に燃え尽きていたので(す)っぱり諦めずに脇に置いていた時点で未練だらけです。そんなこんなで描いていた趣味のイラストをまもめ、スクウェア・エニックスで3年連続で卒業した後、社会に出るには義務だとか責任だとかよくわからない複雑な

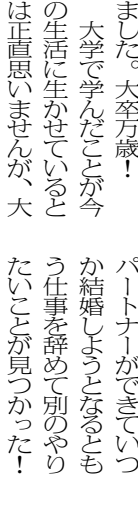
大学

自由な時間に目標を

大学で学んだことが今の生活に生かされていると正直思いませんが、大学在学中の自由な時間は猛烈に大切に貴重なもの

もののがしかかります。パートナーができていつか結婚しようとなつて仕事を辞めて別のやりたいことが見つかった！なんて自分の一任で決まらねえ。夢も現実

が、私は高校生の頃の夢を追うには厳しい所まで来てしまいました。みなさん同じ轍は踏まないように。とはいえ好きなことが仕事にできたことは幸いです。これは筑波大を卒業してなければ実現していません。



現在、私はスクウェア・エニックスで第三開発事業本部に配属され、ファイナルファンタジーシリーズの開発に携わっています。新型コロナウィルスの影響から在宅勤務となり、通勤時間が無くなって自分のペースで仕事ができる分、今後の人生設計なんかを考えて行動できる時間の余裕もできました。人生何が起るか分かりませんが、みなさんが自分の好きなことを見つけてそれを実現できるような人生を歩まれることを、異世界の服や鎧や英雄たちを描きながら祈っています。(平成30年度芸術専門学群卒業写真は本人提供)

短歌

往来の激しき春に植え込みの連翹の黄はふるえていたり



3月18日、つくば市天王台で

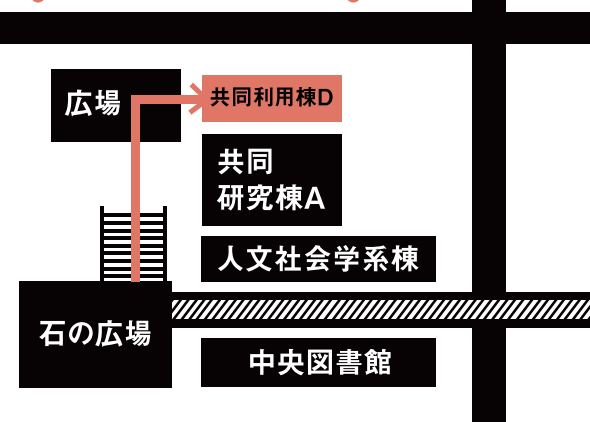
春の道を歩いていると、知らない花によく出会う。最近、スマホのアプリで簡単に花の名前が分かることを知った。植込みでよく見かける低木の小さな黄色い花は、連翹というらしい。やわらかな花びらが陽差しを浴びていた。(廣間菜月Ⅱ比較文化学類3年、写真も)



新人記者募集

取材、記事執筆、紙面編集など記者としての活動が盛りだくさん！
 筑波大のニュースと一緒に追いませんか？毎週月曜日の午後6時30分から、
 オンライン会議システム「Teams」で「編集会議」を行っています。
 記事の担当などは各自の日程に合わせて調整できます。
 活動内容はツイッターなど公式SNSで発信していきます。

筑波大学中央(バス停) 大学公園(バス停)



TEL : 029-853-6699

MAIL : shinbun@un.tsukuba.ac.jp



Twitter @ut_shimbun

Instagram university_of_tsukuba_shimbun



編集代表 鴨志田公男

今号を読んでいただければ分かりますが、筑波大学新聞の守備範囲はとても広いのです。筑波大の特色の一つである学生宿舎やプラ

「第6位、筑波大学」と、彼らの箱根駅伝への強い思いをどうやって記事で表現したらよいか。一言一句にとても頭を悩ませたことを覚えておきます。

その6日後、選手たちの勇姿を伝える最新号(第352号)が無事発行されました。自分の書いた記事や撮った写真が一面を飾った紙面を見た時は、とてもうれしく思わず自分用に10部も持って帰り、狭い宿舎の部屋に飾ってしまいました。

社会を揺るがすようなニュース、夢に向かって努力する学生たちの姿、世界に誇る最先端の研究などを取材し、自分の言葉で多くの人々に伝えていく。筑波

記者は時代の目撃者だ

新入生の皆さん、この1年をどのように過ごしてきましたか。コロナ禍の中で息苦しさを感ぜながら、受験勉強に追われていたのではないかと思います。

だからこそ、大学生活を存分に楽しみたい。課外活動も勉強も充実させたい。そんな期待と希望に満ちあふれているならば、ぜひとも筑波大学新聞で、一緒に活動しませんか。

今号を読んでいただければ分かりますが、筑波大学新聞の守備範囲はとても広いのです。筑波大の特色の一つである学生宿舎やプラ



編集長 大和祐菜

守り(中略)真実を追求すること」を掲げています。

コロナ禍が続く今、時代は大きな転換期にあると言えるでしょう。大学教育はどうあるべきか。ポストコロナに大学はどう貢献できるのか。綱領の達成を目指す上でも、書「へき」ネタには事欠きません。記者には時代目撃者なのです。

もちろん、取材などの際には3密を避け、オンラインを活用するなど、新型コロナウイルスの感染対策を徹底しています。

今まで記事なんて書いたことがない？ そんな心配は不要です。先輩たちが教えてくれます。新聞記者生活が長かった私も、手助けします。

さあ皆さん、来たれ、大学新聞編集部へ。(筑波大教授・元毎日新聞論説委員)

今と未来をつなぐ新聞

大学新聞なら、みなさん自身が「記者」として、そんな貴重な体験をすることが出来ます。

新型コロナウイルスの感染拡大で、私たちの日常はすっかり変わってしまいました。そんな中で、あなたが社会に向けて訴えかけたことは何でしょうか。本紙では、筑波大の内外を問わず「伝えるべきこと」を取材できます。

新聞は、今と未来を繋ぐ架け橋となります。私たちが一緒に、今を多くの人々に、そして未来の人に伝えていく「新聞」を作ってみませんか。

夢と希望とパソコンが詰まった編集室で、新入生のみなさんをお待ちしております。(障害科学類3年)

紡がれる思い 筑波大メッセージソングの今とこれから



筑波大のブランディング戦略の一翼を担うメッセージソング「IMAGINE THE FUTURE」は2011年4月の入学式で正式に初演奏された。以来10年。本紙アンケートで歌は筑波大生のアイデンティティとなりつつある姿が浮かんだ。だが、コロナ禍の影響で昨年度は公的な場での演奏がなくなり、2年生の認知度は下がっている。「IMAGINE THE FUTURE」(ITF)というスローガンの誕生と継承に携わってきた関係者への取材を通じ、歌に託された思いと今後を探った。(天野隼太、北川瑠菜、比較文化学類、三橋美音、教育学類、中山友萌香、生物学類、工藤和哉、生物資源学類)

「ITF」というスローガ

ンが制定されたのは、大学会館が被災して使えなくなった陸上競技場で、米月・故・山田信博・第8代学長が09年から取り組んだ「筑波プラン」構築の一環で、コピーライターの一倉宏さん(昭和52年度人文学類卒)が考案した。この理念を伝えるメッセージソングは、作詞を一倉さん、作曲家の吉川洋一郎さん(昭和51年度自然学類入学)が曲作りを担当した。初披露は東日本大震災から間もない11年4月の入学式だった。

初披露は青空の下

本紙の取材に永田恭介学長は「スローガンは筑波大が40年かけて作ってきた価値を一言で表現したものだ」と話した。一方で「ブランディング力はまた弱い」とし、今後のブランディング戦略について「大学の新しい価値を紡いでいくことが大切だ」と語った。

「IMAGINE THE FUTURE ～未来を想え」

制定 2010年4月 作詞：一倉宏 作曲：吉川洋一郎

- あの峰に 流れる雲も
二度とない現在(いま)を かたちにして
君はなぜ そして僕らの ここに来た意味も
君は見たか 未来は振り向き
君は見たか そとと僕らに告げる

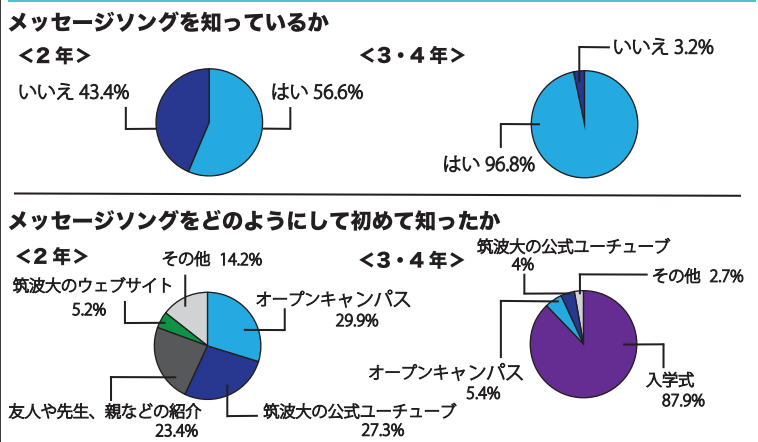
Imagine the future We shall go together
共に生きる 人類(ひと)の未来を 想え
Imagine the future We shall go together
開かれた その未来を 想え
- 朝焼けに 星空に描(か)く
果てしない夢を 日々のページに
時間の海 僕らに乗せた この宙(そら)の船は
変わる時代 変わるすべてに
変わらずあるそれは生命(いのち)の重さ

Imagine the future We shall go together
続いてゆく 地球(ほし)の未来へ いこう
Imagine the future We shall go together
開かれた その未来へ いこう
- 国境も そして言葉も 越える翼あれ その肩には
君はゆけ ひとりではない いつの日も 友よ
君は見たか 未来の瞳を 君は見たかそこに僕らが映る

Imagine the future We shall go together
共に生きる 人類(ひと)の未来を 想え
Imagine the future We shall go together
開かれた その未来を 想え

Imagine the future We shall go together
続いてゆく 地球(ほし)の未来へ いこう
Imagine the future We shall go together
開かれた その未来へ いこう

「IMAGINE THE FUTURE」に関するアンケート調査



◆調査方法
2月26日～3月5日に「IMAGINE THE FUTURE」に関するアンケートのURLを各学群・学類のLINEグループに送信し、290人から回答を得た。設問は選択式と自由記述式を合わせて2年生向け、3・4年生向けともに17項目。回答者の学年別内訳は2年生136人、3年生79人、4年生75人。学群別内訳は人文文化66人、社会、国際39人、人間53人、生命環境38人、理工30人、情報25人、医4人、体育専門24人、芸術専門11人。

2年生の認知度は6割

スローガンとメッセージソングの認知度はどれほどあるのか。本紙は2～4年生を対象にウェブアンケートを実施し、290人(2年生136人、3・4年生154人)から回答を得た。「ITF」というスローガンを知っていると答えた学生は、2年生が133人(97.8%)、3・4年生が153人(99.4%)と、100%に近かった。一方、メッセージソングを知っていると答えた学生は3・4年生で149人(96.8%)いたが、2年生は77人(56.6%)にとどまった。メッセージソングを知っている学生に、「どのようにして初めて知ったか」を聞いたところ、3・4年生は131人(87.9%)が「入学式」と回答した。コロナ禍で入学式が中止となった2年生は「オープンキャンパス」が23人(29.9%)、「筑波大公式YouTube」の動画が21人(27.3%)という結果だった。

制作者に聞く

筑波らしさを形に



一倉宏さん



吉川洋一郎さん

スローガンとメッセージソングに込めた思いや今後の展望について、制作者の一倉宏さんと吉川洋一郎さんに聞いた。

スローガンにある「未来」と「想像」という言葉は、どの大学でも言えることかもしれない。だが筑波大は創立時から新構想大学としての「未来型」で「開かれた大学」というアイデンティティを持っていて、その筑波らしさを一言で表したものが「IMAGINE THE FUTURE」だ。

テレビCMは歌にのせてキャッチコピーを伝えることが多い。耳に残りやすく、視聴者に情報が伝わりやすいからだ。「IMAGINE THE FUTURE」も、歌にすることでの意味を共有してもらえようと考え、メッセージソングの制作を提案した。スローガンは、自分たちを自画自賛するためのではなく、

スローガンとメッセージソングを制作するにあたっては、まず「筑波らしさ」をどう表現するかを考えた。最初は大学を「インテリジェント、クリエイティブ、ディレクター」90年に独立し、倉田製作所を設立。ファミリーマートの「あなた、コンビニ」など数々のキャッチコピーを制作している。

一倉宏(いちくら・ひろし) 1965年生まれ、群馬県出身。昭和52年度第一学群人文学類卒。コピーライター、クリエイティブディレクター。90年に独立し、倉田製作所を設立。ファミリーマートの「あなた、コンビニ」など数々のキャッチコピーを制作している。

吉川洋一郎(よしかわ・よういちろう) 1957年生まれ、香川県出身。作曲家。映像プロデューサー。昭和51年度第一学群自然学類入学。在学中に「舞踏グループ山海塾」に参加し、30年間音楽を担当。NHK特集「地球大紀行」のテーマソングなど、数多くの音楽を手掛ける。

皆で共有できる歌を

高揚感を演出するため、筑波大がSNSのプロフィール欄で所属する「ITF」と表現しているのは、スローガンがそのように浸透した証左なので、とてもうれしい。卒業後も「ITF」をアイデンティティの一つとして誇りを持ち続けたい。メッセージソングの歌詞にはそうした思いも込められている。

高揚感を演出するため、筑波大がSNSのプロフィール欄で所属する「ITF」と表現しているのは、スローガンがそのように浸透した証左なので、とてもうれしい。卒業後も「ITF」をアイデンティティの一つとして誇りを持ち続けたい。メッセージソングの歌詞にはそうした思いも込められている。

学生生活と共にある歌

メッセージソングは入学式や卒業式、筑波大学学園祭(雙峰祭)で演奏され、学生歌手が参加している。戸川千勢さん(令和2年度比較文化学類卒)は16年度の卒業式で初披露し、計7回のステージに立った。戸川さんは「会場で聞くからこそ得られる感動を届けたい。そのために客席全体に目を配りながら、表情豊かに歌うよう気をつけていた」と語った。

3年生だった昨年度は学生歌手としてメッセージソングを披露する最後の年だった。1年休学したため、「先に卒業する同期を自分の歌で送り出したい」と思っていたが、コロナ禍で卒業式での歌唱はなくなり、「残念だったが、友人から『聞きたかった』と言われうれしかった」と話す。メッセージソングについて「3年間歌ってきた愛着のある歌。歌えば、筑波

会場の一体感を生む

筑波大学応援部WINGSは毎年、メッセージソングを雙峰祭と1月の単独公演で披露している。だが、運動部の試合の応援でよく使われる。筑波大学応援歌「桐の葉」だ。歌われてきた歴史が長く、試合前に運動部員らが歌って士気を高めるなど、曲調も勇壮だからだ。

同部で応援を指揮するリーダー部の佐藤悠多さん(人文3年)は「メッセージソングは爽やかで親しみやすさがある。会場の一体感を生み出しやすいので、運動部から要望があれば応援歌として使うことも検討していきたい」と語った。

筑波大のYouTube公式チャンネルには、メッセージソングの動画が12本投稿されている。このうち

コーチャップで発信

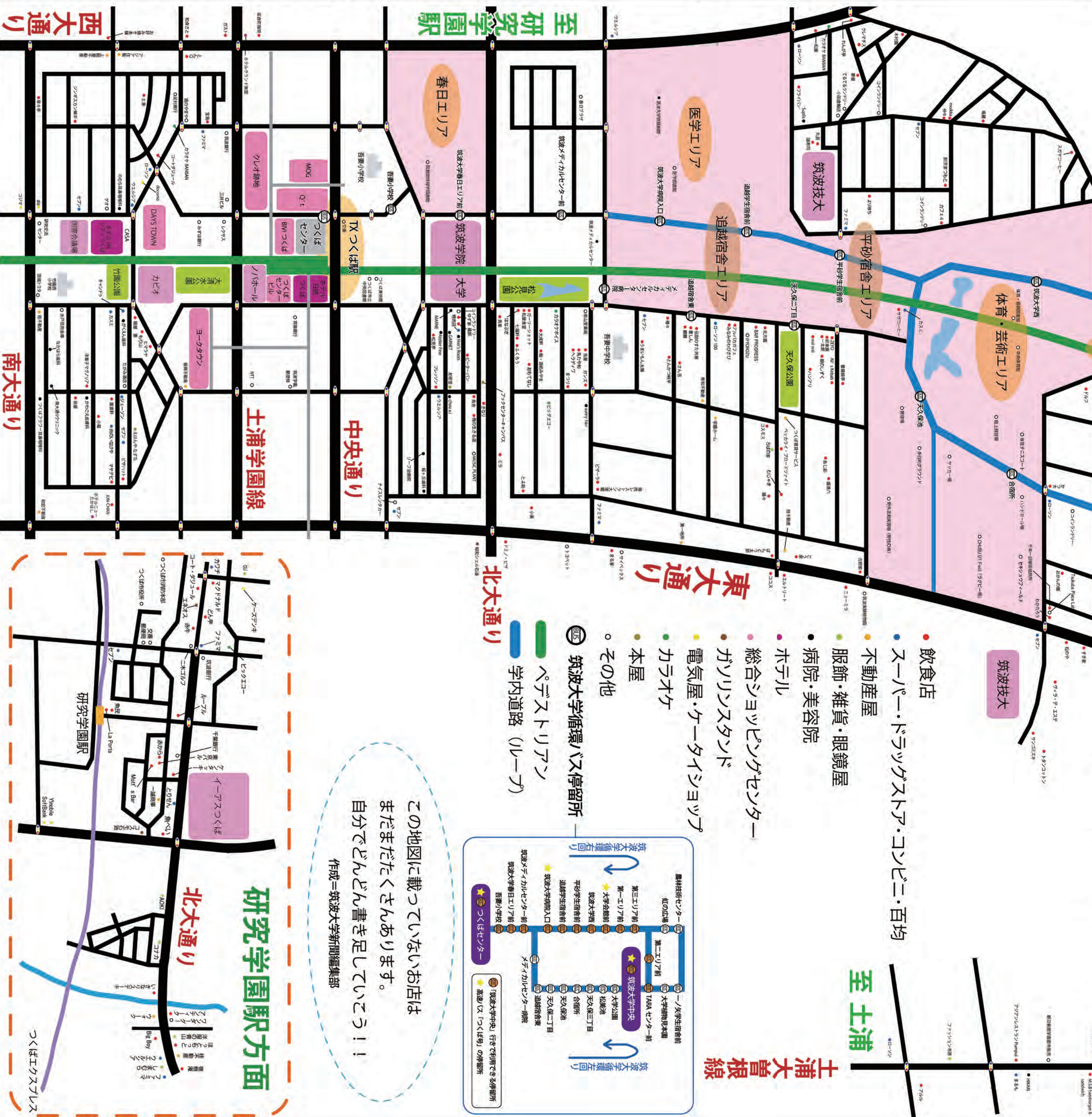
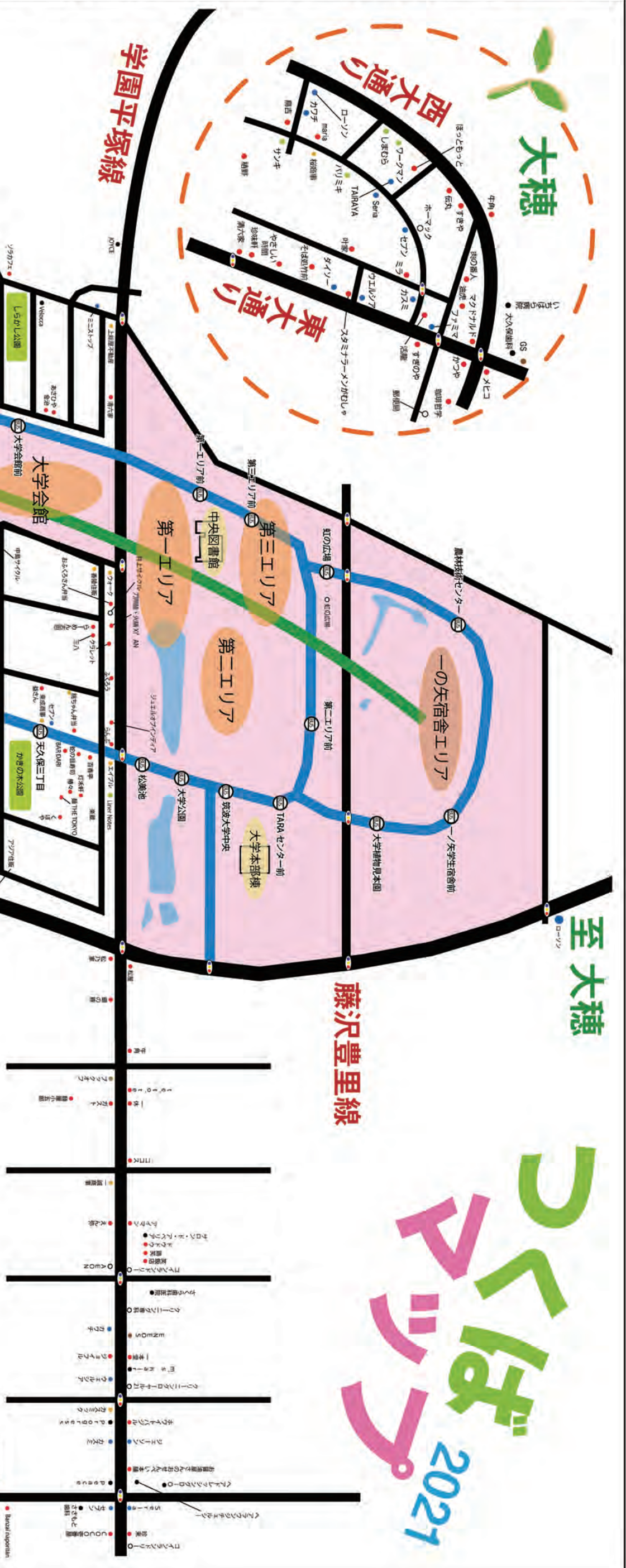
6本は入学式や卒業式での演奏で、残り6本は学生や教職員、課外活動団体、卒業生などの協力を得て制作したミュージックビデオ(MV)だ。

MVのうち4本は日本語版で、11年度から14年度まで毎年制作された。DVDに収録し、入学式や卒業式の参加者に配布した。残り2本のMVは英語版と中国語版で、15年度に英語版、19年度に中国語版が発表された。

広報戦略室長の山科直子教授は「MVは、音楽に映像も加えることで、曲に込めたメッセージをより分かりやすく伝えられるコンテンツだ。コロナ禍で入学式や雙峰祭が実施できなくても、公開動画によって新入生もメッセージソングを知りやすい機会が得られる。『ITF』というスローガンやロゴマークを活用し、学内外に筑波大のイメージを周知していきたい」と語った。



入学式でメッセージソングを披露する戸川さん(右) = 広報室提供



- 飲食店
- スーパー・ドラッグストア・コンビニ・百貨
- 不動産屋
- 服飾・雑貨・眼鏡屋
- 病院・美容院
- ホテル
- 総合ショッピングセンター
- ガリンスタンド
- 電気屋・カータイショツツ
- カラオケ
- 本屋
- その他

- 筑波大学循環バス停留所
- ペDESTリアン
- 学内道路(ルータ)

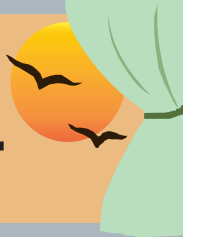


この地図に載っていないお店は
まだまだたくさんあります。
自分でどんどん書き足していこう!!
作成=筑波大学新聞編集部

つくばMAP 2021

研究学園駅方面





青春の通過点 学生宿舎はいま 国公立大で日本一の規模 どう生かす

筑波大には4000室近い学生宿舎がある。国公立大学では日本一だとされる。1973年の開学当初は交通の便が悪く、「陸の孤島」と呼ばれた筑波キャンパス。学住近接を実現する宿舎生活は、筑波大生のアイデンティティでもあった。現在は空室も目立つ宿舎だが、筑波大生に身近な存在であることに変わりはない。「宿舎民」とも呼ばれる入居者の生息や宿舎の現状、筑波大出身教員の宿舎まつわる思い出を取材し、将来像を展望した。(及川千翔)人文学類、寺尾優太、山田優芽、北川環菜、比較文化学類、車谷郁美、社会学類、大和祐菜、障科学類

未改修棟は 1万5000円

筑波キャンパスの学生宿舎は、平砂、追越、一の4地区とクローバー、2020室が埋まっている。今年4月1日現在で計67棟38005室ある。居室まで大規模改修が行われ、居室の広さは約10平方メートル。居室には机、椅子、ベッド、独立洗面台、wi-fiなどがある。

学生宿舎タイプ別居室の概要

	宿舎費	広さ	室内設備
一般単身	改修棟 19410円 <small>※春日地区は19615円</small>	約10㎡	机、椅子、ベッド、独立洗面台、wi-fiなど
	未改修棟 15380円		
単身用二居室	23670円	約30㎡	机、椅子、ベッド、流し台、トイレ、ベランダ、wi-fiなど
グローバルワイレレッジ	35800円	約10㎡ <small>※居室</small>	机、椅子、ベッド、本棚、独立洗面台、テラス、wi-fiなど

(学生生活課への取材などを基に作成)

本紙から振り返る宿舎

「三人に一人は出される」宿舎問題。本紙創刊第2号(1974年11月22日)3面にほんのり見出しが踊る。宿舎の入居希望者が多いため、新入生を優先入居させる。宿舎を追い出される学生が相次ぐ見通しであることを報じる記事だ。

その後、77年までに計37棟が建てられるなど整備は急ピッチで進み、現在の姿となった。だが、今世紀に入ると老朽化が目立つようになり、2009、13年に26棟が大規模改修された。今後、学生宿舎の整備計画を各フロアへのシャワー室設置や検討していく予定だ。



1974年発行本紙第2号には学生宿舎の問題が掲載されている(3月26日、本紙編集室) = 大和祐菜撮影

入居率減少

部屋にはベッド、机、インターネット環境が備えられているが、トイレやバスコンロ、流し台、洗濯室、シャワー室は共用だ。これが宿舎の基本パターンだが、設備がより充実している。床面積がより広がった入居率は19年4月に66・6%に減少した。20年4月は、新型コロナウィルスの感染拡大の影響を受けて、4月の一斉入居を取りやめたため入居率は44・8%と大幅に減少した。だが、6月下旬から学生宿舎への入居を再開したことにより21年3月の入居率は54・7%まで増加した。今年度の入居状況は現在、学生生活課が集中だ。

宿舎費確保へ対策も

学生生活課の担当者「昨年度はコロナ禍の影響も大きかったが、春日の宿舎では18年度から継続申請なしで2年目も居住できるようにした。また、一の矢では19年度から今年度にかけて5棟を卒業まで入居できる「継続入居棟」とした。

天井や床の修理、外壁の塗り替えなどが行われた。キャンパス内で最新の宿舎が、グローバルワイレレッジだ。17年に7棟310室、18年に4棟190室が建設された。ユニットと呼ばれる部屋に個室が五つ用意され、キッチンやリビングを共有する。リビングにはテーブルや食器棚、冷蔵庫なども置かれている。留学生と日本人学生が同居し、異文化交流を促進することを目指す。

宿舎民の本音に迫る!

筑波大生は学生宿舎に入居する学生を、愛着を込めて「宿舎民」と呼ぶ。彼らは宿舎での暮らしをどう感じているのか。当事者だからこそ言える宿舎のメリットやデメリット、入居理由、生活まつわるエピソードなどを現・元宿舎民に聞いた(かっこ内は入居地区、学年、性別の順)。

好きな面

■宿舎民同士の交流
会話はあいつをやる程度。共用のシャワー室の排水溝には大量の髪の毛が取り残されていて、いつも自分生で宿舎民という仲間意識があり、頼みやすかった。(元平砂・3年女性)

■安さが魅力
家賃は月2万円を切り、光熱費もかなり安い。電子レンジをよく使い、夏場は一日中エアコンをつけていたが、電気代は1カ月で2000円ほどだった。(元平砂・2年男性)

■災害時に人がいる安心感
2019年の台風19号襲来時、食料を買い込んで同じ宿舎に住む友人と一緒に過ごした。廊下には、「大きな被害はないので安心してください」という管理事務所からの放送が流れ、災害時の不安を払拭してくれた。(元一の矢・3年女性)

生活の工夫

■100円玉を生み出す
洗濯機やシャワーを利用するには100円玉が必要だ。宿舎内に両替機がないため、100円玉のお釣りが出るように買い物をしていく。(元平砂・2年女性)

■電子レンジレンジレヒ
共用キッチンまで行くのが面倒で、自室の電子レンジで作るレンジを極めた。スープやパスタ、親子丼やリゾットまで作れる。メニューも豊富で意外と飽きない。(元平砂・2年女性)

■6畳に彩りを
宿舎は狭い。壁を隠さないスチールラックを使い、部屋を広く見せた。また、長机を置いて料理用のスペースを作った。空間を上手に使うのがコツだ。(元平砂・2年男性)

入居の理由

■駐車料金の安さ重視
1年生の2月に車を購入し、アパートから駐車料金月400円と安い宿舎に引っ越した。未改修棟に割り当てられたが、大学内やボーイフレンドの部屋にいくことが多いので、多少汚くても我慢できる。(元追越・3年女性)

■ひろびろ2人室
2年時から2人室を単身使用している。広々としたドヤテーブルなど最低限の家具も備え付けられている。貯金ができ、アパートよりもお得だ。(元一の矢・3年女性)

■バリアフリー充実
障害者向けの部屋に入居している。車椅子生活だが、十分な広さがあり、移動しやすい。管理人を呼べるブザーもついており、安心して生活ができています。(元一の矢・3年女性)

その他

■嫌いな面
■中この格闘
1年生の夏、冷蔵庫の上でゴミブリを見つけた。トラウマになった。居室での食事やめ、共用のキッチンで食事をしたり、外食で済ませたりした。こぼしたご飯がゴミブリの餌になるのが嫌で、部屋で炊飯器は使わなかった。ゴミブリは匂いが強い。洗剤など必要なものは洗濯ネットをそっと落として絡ませ、外に逃がさないように行く。共用スペースの掃除は当番制だ。フロアが同じ中国人留学生は日本語が上手で、お土産や手作りのお菓子をよってくれる。共同生活は快適で、卒業まで住みたい。グローバルワイレレッジ・2年女性

■近所騒音トラブル
同じユニットの留学生が大勢の友達を呼んでよくパーティーをしていた。静かに過ごしたい自分にはストレスだった。共用スペースの掃除はほとんど自分がしていたが、すぐ汚されてしまった。入居から6カ月でアパートに引っ越した。(元グローバルワイレレッジ・2年男性)

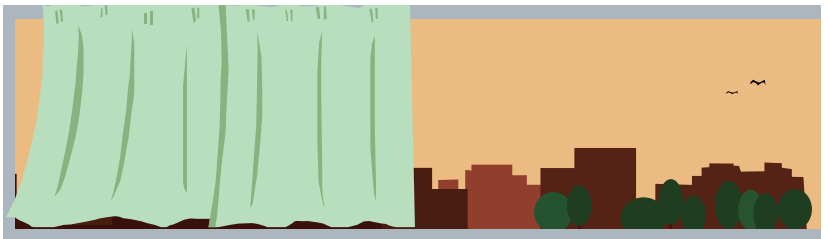
退去の理由

■相性いまいち
入居から4日で退去した。物音や共用部のゴミなどが常に他人の気配を感じているのがつらかった。(元一の矢・3年女性)

三人に一人は出される宿舎問題。宿舎問題を考える。1974年発行本紙第2号には学生宿舎の問題が掲載されている(3月26日、本紙編集室) = 大和祐菜撮影

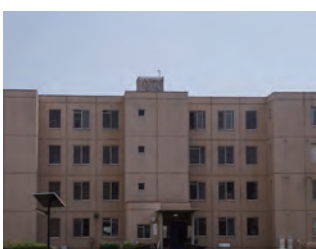


100円玉は必須(3月25日、平砂学生宿舎) = 山田優芽撮影



留学生と宿舎

筑波大は30年度までに留学生を現在の3000人台から5000人に増やす目標を掲げている。留学生向けの宿舎の整備が今後、一層求められることになる。



昨年春からグローバルヴィレッジに住む中国人留学生の張翊超さん(デザインP2年)は「エアコンや机、ベッドなどの設備が最初から部屋にあるのが魅力的だった」と語った。大学の宿舎なので、日本語が不得意でも不当な契約を結ばされる心配もなかった。

グローバルヴィレッジの真価 どう発揮する

留学生と日本人学生が共同生活を送るグローバルヴィレッジ。運用開始から5年目を迎え、国際交流を促す当初の狙いはどれくらい実現されているのか。同じ学類の友人Kさんの部屋を訪ねた。(寺尾優汰)

Kさんが住む棟の正面玄関と話す。学生生活課によれば、ユニット内の盗難など、室内から遠隔操作の報告はこれまで一度も作で鍵を開けてくれた。中に入るとまた扉が。Kさんと留学生Cさんが2人の留学生と暮らす「ユニット」の入り口だ。

学生自ら交流の機会設けて

同時に家具や家電を処分する手間がなく便利と話す。防犯や個室の設備は充実しているが、共用するトイレやシャワー室では共有の洗面台を共有している。



キッチンで料理をする留学生(3月6日、グローバルヴィレッジ) = 寺尾優汰撮影

グローバルヴィレッジでは、共用部の清掃は居住者が行う。業者の点検は年に2回あるが、清潔な住環境を維持できるか否かはユニットのメンバー次第だ。

「学生だけの世界に身を浸せる経験は、社会人になる前の通過点としての意義もある」という。にぎやかな毎日が1人暮らしを始めたらばかりの寂しさを払拭してくれる。「そうした生活の中で己の視野の狭さを知り、自ずと社会に出ていくようになる」と振り返った。

宿舎で過ごした青春

宿舎生活は重要な人生の通過点。試験勉強に打ち込んだり、友人と朝まで飲み明かしたり。宿舎生活を知らぬ筑波大OBの教授2人に青春の思い出を聞いた。

土井隆義教授 (人文社会学系)



「毎日が修学旅行の夜のようだった」という。6畳ほどの部屋に10人近くが集まり、すし詰め状態で夜遅くまで飲みながら語り合った。試験前は、問題の予想や教え合いもした。

大谷奨教授 (人間学)



大谷教授は82年から通算8年間、筑波大人間学類と

「毎日が修学旅行の夜のよう」

大谷教授は82年から通算8年間、筑波大人間学類と

その噂ホント?

風呂がついている個室がある? 男子が女子棟に女子が男子棟に行き来できる時代があった? まことしやかにささやかれる学生宿舎の「都市伝説」を、本紙記者が追った。果たしてその真実とは?

「開学直後の宿舎は各部屋に風呂がついていたというわけがある。それは間違いないが、ユニットバスやシャワーが設置されていた個室は存在する。一の矢地区では、短期滞在用のシャワーブースが設置されている。ユニットバスやシャワーが設置されていたのは2005年、不審者の侵入を防ぐため、手の甲の静脈情報で入居者を認証するシステムの運用が開始された。だが、誤動作が多かったため、06年からIDと、パスワードを入力する仕組みに変更された。

Hello! 先端研究



ベンジャミン・ハーベイ助教

人為的な二酸化炭素(CO2)の排出が地球温暖化をもたらしているが、もう一つの深刻な問題は海洋の酸性化だ。大気中のCO2濃度が増えると海洋のCO2吸収量も増え、pH(水素イオン濃度)が低下する。その結果、海洋生態系に長期的な影響を及ぼすことが懸念されているのだ。

太平洋の温帯域でシープの発見は初めてで、海洋酸性化の影響を自然形で確認可能な場所として、世界的に注目されている。このままCO2の排出が

一方、ベンジャミン・ハーベイ助教(同)は失われた多様性が回復するかどうかを探っている。15号四方の火山岩製のタイルを5個ずつCO2濃度900ppmのシー

300ppm海域に移したタイルでは、数カ月で大型藻類が繁殖するようになり、多様性が回復した。適切にCO2を削減すれば多様性が回復する

藤和哉(生物資源学類2年)たいと話している。(取材を基に作成)

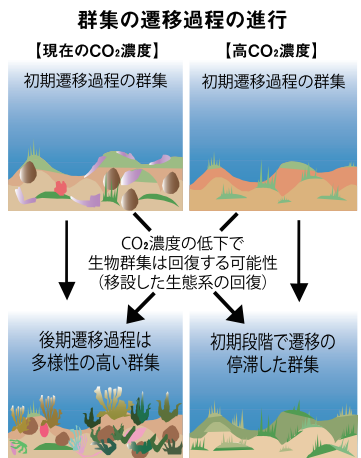
CO2削減で生態系回復

式根島で海の未来を予測

同センターのシルバ・アゴスティニ助教(生環系)らは昨年4月、CO2濃度が900ppmの海域では、周辺に比べサンゴや大型の海藻類の減少が著しく、生息する魚類の種類も半減していると発表した。

濃度900ppmのシープ周辺海域と同300ppmの海域に設置したタイルを半年間観察したところ、300ppm海域のタイルには大型海藻類などが付着して生物種類などが著しく、多様性の高みとなった。

魚類のすみかとなるサ



土井教授は、筑波大開学から6年後の1979年から5年間在籍し、2年次まで平砂宿舎に住んでいた。

「毎日が修学旅行の夜のようだった」という。6畳ほどの部屋に10人近くが集まり、すし詰め状態で夜遅くまで飲みながら語り合った。

大谷教授は82年から通算8年間、筑波大人間学類と

大谷教授は82年から通算8年間、筑波大人間学類と

大谷教授は82年から通算8年間、筑波大人間学類と

全日本選手権 6大会ぶりの学生王者

松崎 悲願の剣道日本一



決勝でコテを打った松崎(右) = 全日本剣道連盟提供

個人戦で剣道日本一を決める全日本選手権が3月14日、長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」(長野市)で開催された。前回大会で準優勝した茨城県代表の松崎賢士郎(体育P1年)が3回目の出場で初優勝に輝いた。学生王者は竹ノ内佑也(金成27年度体育専門学群卒)以来6大会ぶりで、茨城県代表の優勝は初めて。筑波大からは松崎に加え、星亨啓太(令和2年度体育専門学群卒)も先月卒業した4人を含む計7人が出場した。

個人戦で剣道日本一を決める全日本選手権が3月14日、長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」(長野市)で開催された。前回大会で準優勝した茨城県代表の松崎賢士郎(体育P1年)が3回目の出場で初優勝に輝いた。学生王者は竹ノ内佑也(金成27年度体育専門学群卒)以来6大会ぶりで、茨城県代表の優勝は初めて。筑波大からは松崎に加え、星亨啓太(令和2年度体育専門学群卒)も先月卒業した4人を含む計7人が出場した。

個人戦で剣道日本一を決める全日本選手権が3月14日、長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」(長野市)で開催された。前回大会で準優勝した茨城県代表の松崎賢士郎(体育P1年)が3回目の出場で初優勝に輝いた。学生王者は竹ノ内佑也(金成27年度体育専門学群卒)以来6大会ぶりで、茨城県代表の優勝は初めて。筑波大からは松崎に加え、星亨啓太(令和2年度体育専門学群卒)も先月卒業した4人を含む計7人が出場した。

個人戦で剣道日本一を決める全日本選手権が3月14日、長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」(長野市)で開催された。前回大会で準優勝した茨城県代表の松崎賢士郎(体育P1年)が3回目の出場で初優勝に輝いた。学生王者は竹ノ内佑也(金成27年度体育専門学群卒)以来6大会ぶりで、茨城県代表の優勝は初めて。筑波大からは松崎に加え、星亨啓太(令和2年度体育専門学群卒)も先月卒業した4人を含む計7人が出場した。

個人戦で剣道日本一を決める全日本選手権が3月14日、長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」(長野市)で開催された。前回大会で準優勝した茨城県代表の松崎賢士郎(体育P1年)が3回目の出場で初優勝に輝いた。学生王者は竹ノ内佑也(金成27年度体育専門学群卒)以来6大会ぶりで、茨城県代表の優勝は初めて。筑波大からは松崎に加え、星亨啓太(令和2年度体育専門学群卒)も先月卒業した4人を含む計7人が出場した。

個人戦で剣道日本一を決める全日本選手権が3月14日、長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」(長野市)で開催された。前回大会で準優勝した茨城県代表の松崎賢士郎(体育P1年)が3回目の出場で初優勝に輝いた。学生王者は竹ノ内佑也(金成27年度体育専門学群卒)以来6大会ぶりで、茨城県代表の優勝は初めて。筑波大からは松崎に加え、星亨啓太(令和2年度体育専門学群卒)も先月卒業した4人を含む計7人が出場した。

個人戦で剣道日本一を決める全日本選手権が3月14日、長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」(長野市)で開催された。前回大会で準優勝した茨城県代表の松崎賢士郎(体育P1年)が3回目の出場で初優勝に輝いた。学生王者は竹ノ内佑也(金成27年度体育専門学群卒)以来6大会ぶりで、茨城県代表の優勝は初めて。筑波大からは松崎に加え、星亨啓太(令和2年度体育専門学群卒)も先月卒業した4人を含む計7人が出場した。

個人戦で剣道日本一を決める全日本選手権が3月14日、長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」(長野市)で開催された。前回大会で準優勝した茨城県代表の松崎賢士郎(体育P1年)が3回目の出場で初優勝に輝いた。学生王者は竹ノ内佑也(金成27年度体育専門学群卒)以来6大会ぶりで、茨城県代表の優勝は初めて。筑波大からは松崎に加え、星亨啓太(令和2年度体育専門学群卒)も先月卒業した4人を含む計7人が出場した。



写真: スポーツニッポン/アフロ

飯塚 自己ベスト更新で優勝

ジャパンオープン2020

水泳競技

水泳競技日本一を決めるジャパンオープン2020が2月4〜7日、東京アクアティクスセンター(東京都江東区)で開催された。昨年6月に開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響で延期されていた。7日の100メートルバタフライ決勝では、飯塚千遥(体育3年)が自己ベストを更新する58秒37で優勝を果たした。4位には新野杏奈(同4年)が続いた。

飯塚は昨年12月の第96回日本選手権で自身初の58秒台を記録したばかりで、成長著しい。「五輪代表選考会を兼ねた4月の第97回日本選手権に向け、自信になる泳ぎをしたいと考えている。更にスピードを上げるために、短距離を繰り返して泳ぐ強度の高い練習をしたい」と話した。7日の50メートル自由形では山岡(同3年)が4位、6日の200メートル個人メドレーでは横田早桜(同4年)が5位となり、筑波大は計6人が入賞した。(及川千翔)

春日学園少年野球クラブ

大学院生がコーチとして活躍

野球

子供たちは週末に長時間練習をし、球場には指導者の罵声が飛び交う。球場に終日張り付いたままの保護者も多くみられた。春日学園少年野球クラブの代表、岡本嘉一さん(医学医療系・講師)が8年前に目にした光景だ。

「野球をしたい」という小学3年生(当時)の息子のため、つくば市内の少年野球クラブを見学して回っていた時のこと。「見るもの全てが衝撃だった」と岡本さんは振り返る。

「他に良いクラブはないだろうか。いっそ自分で作ってしまおうか。そうして設立されたのが、春日学園少年野球クラブだ。岡本さんは、子供を通わせていた星野野球教室Ⅱで親交があった川村卓准教授(体育系)に「全く新しい少年野球クラブを作りたい」と協力を求めた。

クラブの活動拠点は中川球場(茨城県土浦市)だ。練習は週末の土日いずれか1回4時間のみ。練習のし過ぎによる肘や肩のけがを防ぐためだ。子供たちが「また野球をやりたい」という気持ちのまま練習を終えることで、次の練習への意欲が維持され、自主的な

練習を促す効果もあるという。初回に紹介した通り、川村准教授は筑波大学院で野球コーチング論研究室(野球研)を主宰している。岡本さんの斬新な構想に、「ここまでやるのか」と初めは戸惑ったという。だが、次第に強い熱意が伝わった。「いままでないクラブができるかもしれない」と引き受けた。同クラブは2013年3月、野球研のサポートを受けて始動した。

練習後のアドバイスをする見延コーチ(右奥)(1月16日、中川球場で)

「体が成長すれば、フォームは自然と改善される」という答えが返ってきた。小学生は大人より体幹に対する腕の重さの割合が大きく、肘が上がらないという現象が起きやすい。未発達段階での指導は、むしろ肘のけがを招いたり、投球動作をぎこちなくしたりすることもあるというのだ。このように、野球研のコーチたちは選手の将来を見据え、長期的な視点で指導にあたっており、保護者からの信頼も厚い。保護者の一人は「競技経験が豊富でだけでなく、確かな知識を持ち、教え方もうまい。安心して子供を預けられる」と話す。「子供が野球を楽しんでやるよう目指している」。

初の男女混合駅伝

筑波大は8位入賞

陸上

同じく新潟Sに加入した手塚は筑波大の4年間で「両膝のけがに見舞われるなど苦しいことも多かった。試合に出られない時期を経験したからこそ、1試合にかける思いが増した」と振り返る。新潟Sの副将を務める今季は「攻守でチームの勝利に貢献したい」と意気込んだ。

筑波大学蹴球部の小井土正亮監督(体育系・助教)は「3選手とも順風満帆な4年間でなく、悔しい思いをしてきたと思う。それを糧に高みを目指してほしい」と励ましの声を送った。(細井真生) 2人文学類(2年)

第1回全国招待大学対校男女混合駅伝が3月21日、長居公園内特設コース(大阪市東住吉区)で開催された。17チームが出場し、筑波大は1区で田中蒼大(体育専4年)が、1位から17秒遅れの8位でたすきをつないだ。2区で10位となるも、3区の山本尊仁(応理4年)が9位、4区の榎原沙紀(体育専2年)が8位と踏ん張り、その後は順位を維持したまま6区の高橋香澄(人文4年)がゴールした。

個人戦で剣道日本一を決める全日本選手権が3月14日、長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」(長野市)で開催された。前回大会で準優勝した茨城県代表の松崎賢士郎(体育P1年)が3回目の出場で初優勝に輝いた。学生王者は竹ノ内佑也(金成27年度体育専門学群卒)以来6大会ぶりで、茨城県代表の優勝は初めて。筑波大からは松崎に加え、星亨啓太(令和2年度体育専門学群卒)も先月卒業した4人を含む計7人が出場した。

個人戦で剣道日本一を決める全日本選手権が3月14日、長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」(長野市)で開催された。前回大会で準優勝した茨城県代表の松崎賢士郎(体育P1年)が3回目の出場で初優勝に輝いた。学生王者は竹ノ内佑也(金成27年度体育専門学群卒)以来6大会ぶりで、茨城県代表の優勝は初めて。筑波大からは松崎に加え、星亨啓太(令和2年度体育専門学群卒)も先月卒業した4人を含む計7人が出場した。

個人戦で剣道日本一を決める全日本選手権が3月14日、長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」(長野市)で開催された。前回大会で準優勝した茨城県代表の松崎賢士郎(体育P1年)が3回目の出場で初優勝に輝いた。学生王者は竹ノ内佑也(金成27年度体育専門学群卒)以来6大会ぶりで、茨城県代表の優勝は初めて。筑波大からは松崎に加え、星亨啓太(令和2年度体育専門学群卒)も先月卒業した4人を含む計7人が出場した。

個人戦で剣道日本一を決める全日本選手権が3月14日、長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」(長野市)で開催された。前回大会で準優勝した茨城県代表の松崎賢士郎(体育P1年)が3回目の出場で初優勝に輝いた。学生王者は竹ノ内佑也(金成27年度体育専門学群卒)以来6大会ぶりで、茨城県代表の優勝は初めて。筑波大からは松崎に加え、星亨啓太(令和2年度体育専門学群卒)も先月卒業した4人を含む計7人が出場した。

個人戦で剣道日本一を決める全日本選手権が3月14日、長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」(長野市)で開催された。前回大会で準優勝した茨城県代表の松崎賢士郎(体育P1年)が3回目の出場で初優勝に輝いた。学生王者は竹ノ内佑也(金成27年度体育専門学群卒)以来6大会ぶりで、茨城県代表の優勝は初めて。筑波大からは松崎に加え、星亨啓太(令和2年度体育専門学群卒)も先月卒業した4人を含む計7人が出場した。

個人戦で剣道日本一を決める全日本選手権が3月14日、長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」(長野市)で開催された。前回大会で準優勝した茨城県代表の松崎賢士郎(体育P1年)が3回目の出場で初優勝に輝いた。学生王者は竹ノ内佑也(金成27年度体育専門学群卒)以来6大会ぶりで、茨城県代表の優勝は初めて。筑波大からは松崎に加え、星亨啓太(令和2年度体育専門学群卒)も先月卒業した4人を含む計7人が出場した。



筑波大時代の生地(昨年7月26日、茨城県龍ケ崎市) = 飯田健介撮影

榎原は「悪天候だったことなどで思うようなタイムが出なかった。だが、初めての男女混合の駅伝で、楽しく走ることができた」と話した。(大和祐丞)



「野球をしたい」という小学3年生(当時)の息子のため、つくば市内の少年野球クラブを見学して回っていた時のこと。「見るもの全てが衝撃だった」と岡本さんは振り返る。

「他に良いクラブはないだろうか。いっそ自分で作ってしまおうか。そうして設立されたのが、春日学園少年野球クラブだ。岡本さんは、子供を通わせていた星野野球教室Ⅱで親交があった川村卓准教授(体育系)に「全く新しい少年野球クラブを作りたい」と協力を求めた。

クラブの活動拠点は中川球場(茨城県土浦市)だ。練習は週末の土日いずれか1回4時間のみ。練習のし過ぎによる肘や肩のけがを防ぐためだ。子供たちが「また野球をやりたい」という気持ちのまま練習を終えることで、次の練習への意欲が維持され、自主的な

練習を促す効果もあるという。初回に紹介した通り、川村准教授は筑波大学院で野球コーチング論研究室(野球研)を主宰している。岡本さんの斬新な構想に、「ここまでやるのか」と初めは戸惑ったという。だが、次第に強い熱意が伝わった。「いままでないクラブができるかもしれない」と引き受けた。同クラブは2013年3月、野球研のサポートを受けて始動した。

「体が成長すれば、フォームは自然と改善される」という答えが返ってきた。小学生は大人より体幹に対する腕の重さの割合が大きく、肘が上がらないという現象が起きやすい。未発達段階での指導は、むしろ肘のけがを招いたり、投球動作をぎこちなくしたりすることもあるというのだ。このように、野球研のコーチたちは選手の将来を見据え、長期的な視点で指導にあたっており、保護者からの信頼も厚い。保護者の一人は「競技経験が豊富でだけでなく、確かな知識を持ち、教え方もうまい。安心して子供を預けられる」と話す。「子供が野球を楽しんでやるよう目指している」。



筑波大体操部が披露した「ツクバ・ハイウェイ」=つくば体操フェスティバル実行委員会提供

生放送と収録を組み合わせ 映像配信

つくば体操フェスティバル

体操

体操を通して市民の交流を図る「つくば体操フェスティバル」が2月13日に無観客開催された。筑波大体操部やつくば市スポーツ協会の共催で、会場のつくばカピオ(つくば市竹園)からの生中継と事前に収録した映像を組み合わせ、YouTubeで配信した。地域の体操教室や他大学の体操部など約270人が参加し、21演目を発表した。会場では地域の体操教室の子供たちがポンポンを持って踊ったり、転倒予防動作などが盛り込まれた

コロナ禍での交流を模索

「TK体操」を高齢者が輪になって踊ったりした。また、雪の積もった広場など、全国各地の人々が別々の場所を背景にして体を動かす映像を組み合わせた作品も配信された。筑波大体操部は道具を使わずに演技する徒手など3作品を会場に披露し、新潟大体操部と共作した事前収録作品一つも公開した。このうち、演目全体の最後を飾ったのが会場に披露された「ツクバ・ハイウェイ」。バランスボールの一種「Gボール(直径約70センチ)とラップを使った躍動感のある作品だ。初めは音楽に合わせて、16人の出演者がGボールとラップを掲げて行進する。その後、円状に並

び、軽やかな足取りで回りだす。中盤にはラップをGボールに押し付け、ボールの弾力を生かしてラップを高く飛ばすなど、道具を活用した演出が観客を引きつけた。また、並べられた8個のGボールを出演者の1人がバランスよく渡り切ると、他チームの出演者から拍手が起きた。構成を担当した前主将の菊池月さん(体専4年)は「ラップを使う作品は珍しく、投げてキャッチする時に腕がぶれないようにすることが難しかった。新型コロナで世界はがらりと変わってしまったが、自分たちの歩幅で止まることなく進み続けたいという前向きな思いを込めた」と話した。

今年1月にエジプトで開催されたハンドボールの世界選手権で、日本は24年ぶりにメインラウンド(2次リーグ)に進出。最終順位は32チーム中19位だった。阿部は「立ち上がりが悪かったが、一つ一つ丁寧なプレーを心がけることで巻き返せた」と話した。我那覇は「大学生になって初のタイトルを取れてうれしい。積極的なプレーができたことが勝因だった」と試合を振り返った。

男子シングルスに第2シードで出場した田形は、23日の準決勝まで順調に勝ち進んだ。24日の準決勝では高畑里玖(早稲田大)と対戦。サービスやリターンでミスが相次ぎ、0-2で敗れた。田形は「自分にプレッシャーをかけて臨んだ。昨年と同じベスト4という結果を残せたが、準決勝では自分のプレーがで

昨年3月に開催予定だったが、新型コロナの影響で中止になった。今年の開催方法を模索する中で、収録映像と参加者が会場に集まり生中継をする方法を探り、撮り方や編集、収録映像の編集は筑波大体操部の学生や教員ら実行委員が担った。当日の参加者には、過問の体調記録の提出を義務付け、手指消毒と検温を徹底した。実行委員長の本谷聡監督(体育系・講師)は「大勢では集まれないが、感染対策を講じ、オンラインを活用すればイベントを実施できることが証明できた。コロナ禍での交流の場を設けられたらうれしい」と語った。(北川理菜 比較文化学類3年)

だが、高校入学当初から卒業してすぐにプロの舞台で勝負するには、術や選手の動きを徹底的に分析して試合に生かす。カートのレベルが高いたけではない。対戦相手の戦術や選手の動きを徹底的に分析して試合に生かす。カートのレベルが高いたけではない。対戦相手の戦術や選手の動きを徹底的に分析して試合に生かす。

室内インカレ 阿部・我那覇 ダブルス優勝



優勝した阿部・我那覇ペア=全日本学生テニス連盟提供

全日本学生室内テニス選手権(室内インカレ)が2月19・25日に江坂テニセンター(大阪府吹田市)で開催された。女子ダブルスで阿部宏美(体専3年)と我那覇真子(同4年)のペアが初優勝を果たした。また、男子シングルスでは田形諒平(同4年)がベスト4となった。(山田優芽)

テニス

同大会は例年、1月下旬から12月初旬に開かれていた。しかし、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大で延期され、無観客での開催となった。阿部・我那覇ペアは24日の準決勝まで全試合2セット先取で勝ち上がった。25日の決勝では、第1シードの永田杏里・平田歩(慶応大)ペアに2-1で逆転勝ちした。第1セットは、第8ゲーム以降3ゲーム連続で奪われ4-6で落とした。巻き返しを図る第2セットは着実にポイントを重ね、6-2で奪い返した。10ポイント先取制の第3セットは序盤から阿部・我那覇ペアが、前後に揺さぶりをかけるショットで積極的に攻め込んだ。迎えた9-4のマッチポイントでは、我那覇のサーブを相手選手がネットにかけ、試合は終了。阿部・我那覇ペアが優勝を飾った。

史上初のメインラウンド勝利

筑波大から吉田ら3選手出場

世界選手権

が、2次リーグ最終戦でバーレーンに勝利した。日本が2次リーグで勝利するのは史上初。筑波大からは吉田守一(体専3年)、徳田廉之介(令和2年度体育専門学群卒)、高野颯太郎の3選手が出場し、吉田は大会を通して計10得点を挙げる活躍をみせた。世界選手権は、出場32チームが8グループに分かれて1次リーグを戦った。各グループ上位3チームが2次リーグ最終戦でグループ上位3チームが2次リーグに進出する。日本は1次リーグ3戦目のアンゴラ戦に30-29で勝利し、1勝1敗1分のグループ3位で2次リーグに進出した。2次リーグ初戦のアルゼンチン戦は敗れたものの、24-28と善戦した。2戦目はリオ五輪金メダルのデンマークと対戦。味方がカットしたボールを徳田が受け取ってシュートを決めるなどし、前半は17-19と強豪に食らいついた。後半58分には、センターにいた吉田がボールシュー



写真8 Yukihiro TAGUCHI/JHA。デンマーク戦で相手を振り切ってシュートを狙う吉田

トを決めた。王者相手に奮闘するも、27-34と引き離されて敗れた。最後となった3戦目のバーレーン戦は、日本が先制。一進一退の攻防が続く中、前半7分にバーレーンから退場者が出た。日本は数の優位性を生かしてリードを広げ、19-12で折り返した。後半も日本がリードを保ち、東京五輪アジア予選で優勝したバーレーンに29-25で勝利した。吉田は「強豪国のレベルの高さを肌で感じ、日本が五輪で上位に進出するために目指さなければならぬ水準が明確になった。東京五輪でも日本代表に選ばれ、ベスト8に進出したい」と話した。(遠子内早紀 教育学類4年)

スポーツの顔

サッカー

昨年12月の天皇杯全日本選手権4回戦。対高知ユナイテッドSC戦に途中出場し、延長後半に劇的決勝ゴールを決めた。一般入試での入学から半年でトップチームに上り着き、まさに今、エースストライカーへと変貌を遂げつつある。



写真8 筑波大学蹴球部/M.Naito。天皇杯で活躍 期待のストライカー

庄司 夢ノ介 (体専2年)

が目標にしていたプレミアリーグ(高校最高峰リーグ)昇格のための試合には出られなかったが、プロになるためだけに悔しい気持ちを抑えた。帰宅後から午前3時まで毎日8時間勉強を続けた。センター試験で思うような点数が取れず暗雲が垂れ込めたが、それでも筑波大に入りたい一心で勉強を続け、一般入試での合格を勝ち取った。

入学後はほぼサブチームで練習を積み、昨年10月に推薦合格者以外の1年生で最も早くトップチーム入りを果たした。「何か特別な練習をやら海外挑戦を目指し、更なる活躍を誓う。(車谷郁実 社会学類2年)

ようこそ、総合学域群第1期生 全学の有志が新歓進める



総合学域群の新生入生向けに製作されたパンフレット (3月29日、本紙編集室で)

【2面参照】今年度入学した総合学域群1期生に向けた新生入生歓迎行事が4月11日まで開かれている。準備を進めてきたのは全学から集まった約80人の新歓委員たち。懇親会など7種類のイベントで、1期生約400人の新生活を後押しする。

履修登録方法などに加え、大学周辺の飲食店やアルバイト事情など役立つ情報を掲載したパンフレットも製作し、新生入生宅に郵送した。筑波大では在学生が学群や学類・専門学群ごとに新歓行事を運営している。だが、総合学域群に在学生はおらず、新歓行事をどう行うかが課題だった。全学学類・専門学群代表者会議(全代会)と総合学域群長らの協議の結果、所属や学年問わず全学から新歓委員を募ることが昨年11月に決まった。約40人が集まった同12月から準備作業が本格化した。

イベントは基本的にオンラインで、入学式に先立ち4月1日から始まった。筑波キャンパス内を新歓委員が撮影し、建物などを案内する動画計8本が同日からユーチューブで順次、公開されている。また、クラスごとや居住地別の懇親会、さまざまな学類の上級生との懇談会なども企画された。新歓パンフレットは総合学域群のウェブサイトで3月8日に公開された。フルカラー、全128ページで読み応えがある。

新歓委員は春学期に行われる同学域群クラス別オリエンテーションの運営も手伝うが、必要人数がまだ確保できていないという。このため、委員の募集は現在も続いている。(寺尾優汰、写真も)

がオンライン授業を受ける前段階でつまみ食いように配慮した。瀬邊さんは「さまざまな学類・専門学群から集まった多様なメンバーが、新生を全力で支える。安心して新歓委員を頼ってほしい」と語った。新歓委員は春学期に行われる同学域群クラス別オリエンテーションの運営も手伝うが、必要人数がまだ確保できていないという。このため、委員の募集は現在も続いている。(寺尾優汰、写真も)

昨年5月から編集作業が続いていた「筑波大学キャンパスことば」が2月1日、刊行されました。筑波大図書館の中央図書館と図書館情報学図書館に配架されており、閲覧・貸出しが出来ます。また、この集の内容はウェブページ(https://sites.google.com/view/tbcampuskotoba)でも閲覧出来ます。情報提供や問い合わせはtkb.campus@gmail.comまで。(入江祐希奈II人文学類4年)

食料品配布 2度目の実施

学生1700人に

筑波大は2月17、18日の両日、コロナ禍で困窮する学生向けに2度目の食料支援を行った。地元企業や卒業生らから寄せられた米やカップラーメン、缶詰など食料計約10トが学生約1700人に配布された。(寺尾優汰、写真も)



米を受け取る学生 (2月17日、平砂学生宿舎共用棟で)

たり、待ち時間が長くて参加を断念したりした学生も多かったことから、こうした学生を主な対象に2度目の支援が企画された。配布会場の平砂学生宿舎共用棟では米6ト、カップラーメン6000個、缶詰1500個、レトルトカレー2500個、サツマイモ500kgなどが並び、学生たちは持参したバッグなどに詰めて持ち帰った。新型コロナウイルス対策で会場の密集を避けるため、今回は事前申し込み制とし、2日間で六つの受け取り時間帯を設けた。また、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」と「いばらきアミーちゃん」の事前登録を来場者に義務付け、会場での検温とアルコール消毒も徹底した。

事業開発推進室によれば、今回は計31の地元企業

疫病流行は妖怪が予言？

「学校の怪談」常光徹氏が講演



学生の質問に答える常光名譽教授 (2月19日、1D棟で) =天野準太撮影

新型コロナウイルスと妖怪との関連を考える講演会「疫病と妖怪」が2月19日に1D棟で開かれた。講師

は学術書「学校の怪談」などの著作で知られる民俗学者の常光徹・国立歴史民俗博物館名誉教授。講演会は人文学類が毎年主催する文化講演会の一環で、今回で43回目を迎えた。オンラインと会場を合わせ、数学類や看護学類、体育専門学群などの学生を含む約100人が参加した。

常光名譽教授によると、江戸時代末期には、コロナ禍で話題になったアミーゴの他にも、人の顔と魚の体を持つ「姫魚」や三本足の猿などの姿をした「アマビコ」などが登場した。「疫病と妖怪」が2月19日に1D棟で開かれた。講師

講演後の質疑応答では、「海外にも予言獣はいないか」「一人の妖怪観にはどんな変遷があったのか」などの質問が次々と出され、常光名譽教授が予定時間内に回答しきれないほどだった。

講演会に参加した須黒正也さん(人文2年)は「常光先生が熱意を込めて自分の好きな学問を語る姿に感銘を受け、研究への意欲が高まった。参加して良かった」と話した。(及川千翔、天野準太)

性的少数者を知る集中講義

オンライン開催 コメント機能活用

男女共同参画の重要性を知り、性的少数者への理解を深める集中講義「ダイバーシティ&ジェンダー/セクシュアリティ」が2月20、21日にオンラインで実施された。学群生と大学院生118人が受講した。1日目は河野禎之・助教(人間系)が男女共同参画やダイバーシティの推進について講義。女性が働きやすく、子育てしやすい環境は、誰にとっても生きやすい社会づくりにもつながるなどと説明した。

受講者はオンラインシナリオを使い、匿名でコメントできるようなっており、感想や質問が2日間で約280件寄せられた。河野助教は「受講者同士で質疑が進むなど、参加者の主体的な姿勢が印象的だった。対面でない安心感からか、性的少数者からのコメントも多くあった。オンライン開催のメリットだ。受講者に多様性の大切さが伝わったなら、うれしい」と話した。(小菊日怜媛II社会学類2年、北川瑠菜)

「みんなの学会」開催

聴覚障害者への支援を議論

誰もが楽しめる学びの場とすることを目指す「第2回みんなの学会」が3月21日、オンライン開催された。筑波大や視覚・聴覚障害者が通う筑波技術大など、市内の学生らで作る「つくば院生ネットワーク(TGN)」の主催。今回は科学技術を活用した聴覚障害者のコミュニケーション支援がテーマで、画面上に手話通訳と字幕を表示しながら進行した。

学生や聴覚障害者、その支援者など約50人が参加し、ユーチューブでも生配信した。同時視聴者は最大で1200人を超えた。学会では、筑波技術大の若月大輔准教授と鈴木拓弥准教授が講演した。2人は遠隔でのリアルタイム文字通訳システムや聴覚障害者の授業支援ソフトを開発している。その活用方法を説明し、障害者も必要な情報を入手できるように支援する「情報保障」が重要だと訴えた。

続いて、つくば市立竹園東小の奥沢忍助教が、音声認識アプリを活用しながら通常学級で学んでいる聴覚児童の事例を紹介した。奥沢助教は「健常児と一緒に学ぶことで、難聴児はクラスとの一体感を感じることが出来る。健常児が聴覚障害への理解を深める機会にもなる」と語った。TGNの田中萌奈さん(生物P1年)は「想像以上に多くの人に見てもらえた。当たり前に情報保障がされる社会になってほしい」と話した。

ユーチューブのアーカイブのURLは(https://www.youtube.com/watch?v=Kf1eRqRkX2U&feature=share)。 (半田美乃理)

コロナ禍でメニュー工夫

キャンパス内の飲食店 利用回復目指し

コロナ禍で、筑波大学キャンパス内の食堂や喫茶店も大きな影響を受けた。キャンパスの出入りが減ったことに加え、3密対策で座席の間隔を開けるなどの対策を迫られたこともあり、厳しい経営状態が続く。昨年7月には第三学群食堂が閉店し、今年3月には平砂学生宿舎共用棟の平砂食堂も閉店した。今年度春学期も多くの授業がオンラインとなる中、各店はメニューの工夫や感染防止策の徹底などで、客離れを食い止めるようとしている。(山田優芽、北川瑠菜、車谷郁美、16面に関連写真)

コロナがとどめに

閉店した平砂食堂を2012年から運営していたが、周辺のコンビニやファクトリーによれば、宿舍の入居者数が減少したことなどで、食堂は赤字経営が続いていたという。

「4〜6月は平砂宿舎に新入生が入居し、売上が最も伸びる時期で、休業は痛手だった」と話した。

経費削減のため昨年2月に定食の販売を中止し、カレーや麺類、どんぶりもの

の販売に絞った。営業時間も1時間半ほど短縮した。テイクアウト実施も検討したが、周辺のコンビニやスーパーと価格で対抗することは難しいと判断したという。

感染対策徹底し

1A棟2階の「スーパファクトリー」は、客に見える形で感染対策を取り入れている。

担当者は「赤字が続く、閉店は避けられなかった。学生に食事を提供できなくなり、残念だ」と話した。



除菌の立て札(3月23日、スーパファクトリー) = 山田優芽撮影

テイクアウトも開始

第二学群食堂の運営会社責任者、佐藤正さんによると、20年度の売上は前年度比で4〜6月が約7割減、7〜8月が約5割減、9月〜今年2月が約3割減だった。

同食堂は、パーティー会場としての貸し出しと料理の提供も行ってきた。19年度は約80回利用され、卒業祝賀会などが多い3月は売上の約半分を占めたという。

ベテラン従業員の竹山弘一さんは「パーティー会場としての利用や料理の提供は貴重な収入源だった。コロナ禍で利用がなくなったのは大きな痛手」と話した。



二学食堂の新作弁当(3月26日、本紙編集室で) = 山田優芽撮影

「弁当メニューを増やすことでお客さんの目を引き、売上向上につなげたい。新メニューは毎回完売するが、全体の売上が落ち込んだままなので、手応えはまだあまりない。ただ、停滞している場合はないので、今後も新メニューを積極的に考えていきたい」と語る。

また、竹山さんは「二学食堂は一からだしをとるなど、手作りで提供することをモットーにしている。コロナ禍でも従業員の雇用を守るため休業をせずに運営してきた。多くの人にたくさん利用してもらうことが励みになる」と話した。

教員志望の学生を支援

1人8万4000円支給

有志に急ぎ寄付を募り、50万4000円の支援金が集まった。11月24日から1カ月間希望者を募集し、18人の応募があった。支援を必要とする理由や茨城県で教員を志望する理由を書いた申請書を審査し、6人が選ばれた。

支援を受けた長谷川智さん(芸専4年)は高校の書道教員を目指している。長谷川さんは「アルバイト先の飲食店が閉店し、収入が減った。卒業制作には何十万もの費用がかかる。支援金はそれに充てたい。採用枠は多くないが、教員採用試験に何度でも挑戦するつもりだ」と話した。

(山田優芽、北川瑠菜) 茨城県の教員採用試験を受験予定で、自宅外通学をする筑波大生6人に1月29日、茨城若深会から給付金8万4000円がそれぞれ

くす。準備運動での腕の振りは、刀の振りに生きている」と説明する。続いて取り組むのが、鹿島神流の技を遣う上で必要となる技術要素を習得することから、教職員の会員登録が再開された。本格的に稽古を再開できたのは今年2月下旬だった。この間、自室からオンラインの稽古に参加した前主将の高橋理志さん(心理4年)は「オンラインでもできることをしようと思った。定められた型を反復する練習に力を入れた」と振り返る。

「新型コロナ社会学」開講

筑波大の研究成果 学生に還元

最新の研究成果を紹介する。授業は、同プログラムの支援を受け、コロナ禍での

日本国憲法の捉え方を研究している秋山肇助教(人社会学)が発案した。同プログラムに携わる中で、新型コロナという大きな社会課題に、学問分野の垣根を越えた。

- 授業内容と担当教員 (2月21日時点)
- ① COVID-19と日本国憲法 秋山肇助教(人社会学)
 - ② 日本・英国・ドイツのCOVID-19対応政策と市民の行動変容 谷口綾子教授(シス情報)
 - ③ コロナ時代の人の越境をめぐる政策と技術 明石純一准教授(人社会学)
 - ④ 在宅勤務の増加が与えた主観的な幸福、仕事の生産性、男性の役割への影響 Remy Magnier-Watanabe 准教授(ビジネス系)
 - ⑤ 新型コロナウイルス時代の公衆衛生の役割を考える 堀愛助教(医学医療系)
 - ⑥ COVID-19感染拡大が高齢者の活動に及ぼす影響 山田実教授(人間系)
 - ⑦ 障害者の孤立・虐待の実態把握と対策 大村美保助教(人間系)
 - ⑧ 障害の有無に関わらず学びやすい学習環境 佐々木銀河准教授(人間系)
 - ⑨ ディスタンス・アートの創出手法分析 宮本道人 研究員(シス情報)
 - ⑩ COVID19下の創造性と芸術表現 池田真利子助教(芸術系)

講義は全10回。人文社会学系、人間系、ビジネスサイエンス系、シス情報系、医学医療系、芸術系に所属する教員計10人が担当

鹿島神流武道部

技の中に己見つめる



木刀を振るう部員 (3月16日、筑波大武道館で)

鹿島神流は、鹿島神宮の古くから伝わる「鹿島の太刀」を元とする総合武術だ。剣術や柔術を中心に、抜刀術や杖術なども行う。

鹿島神流武道部は、この武術の継承と普及を図る「鹿島神流」を掲げ、その後の自由練習で



鹿島神宮(茨城県鹿嶋市)の方角を向いて二礼二拍手一礼をし、稽古は始まる。2人1組で向かい合い、木刀を構え、武場場の空気が引き締まる。次の瞬間、「カンッ」と打ち合う音が響いた。素早く技をきめる部員の姿に、思わず息をのんだ。

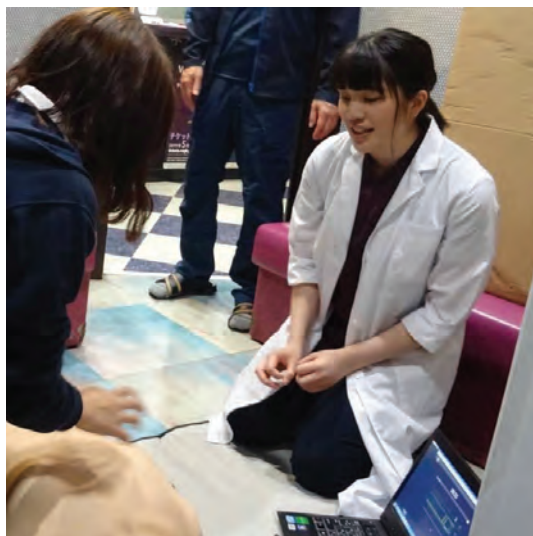
鹿島神流は、鹿島神宮の古くから伝わる「鹿島の太刀」を元とする総合武術だ。剣術や柔術を中心に、抜刀術や杖術なども行う。

有志に急ぎ寄付を募り、50万4000円の支援金が集まった。11月24日から1カ月間希望者を募集し、18人の応募があった。支援を必要とする理由や茨城県で教員を志望する理由を書いた申請書を審査し、6人が選ばれた。

Who's Who?

健康増進のイベントを企画・主催する

森陽愛子さん(医学6年)



カラオケ店でのイベントで来客に心肺蘇生法を指導する森さん=本人提供

「社会の発展の原動力は人々の健康」という信念を持つ。誰もが健康に生きられる社会を目指し、医師の卵でありながら、市民向けにさまざまな医療関連イベントを開いてきた。

「お餅が喉に詰まったら、まず咳をさせよう」「できなければ、みぞおちとおへその間に拳を置き、反対の手のひらを置いて、お腹を突

この論文がカスミの目にとまり、イベントに発展した。だが、餅による窒息予防では、クラウドファンディングで資金を集めてソーシャル・ネットワークキング・サービス(SNS)でも情報発信をするなど、企業頼みに陥らない企画力と行動力を持っている。

「社会全体で健康を整えることができる」と訴えた。小論文は2019年の住友理工学生小論文アワードで最優秀賞を受賞した。

スポーツ少女から医学の道へ 「健康で地域をハッピーに」

北島康介選手が平泳ぎで金メダルを獲得した姿に憧れ、自分もいつかは五輪の舞台に立つことを夢見るようになった。

筑波大入学後は学生団体「Comed(くは)」に加入した。小中学校を訪問し、心臓マッサージの方法やたばこの影響などを教えてきた。学生が主体で企画を考えられることは魅力だったが、「健康は全の人に平等にあるべきで、より多くの人を対象にしたい」と、さまざまイベントを企画するようになった。

「このような活動に興味を持つ学生や医師は少ないが、病気を防ぐことも医師の重要な仕事だ。これからのイベント活動を継続しながら、医師としても人々の健康を守り続けていきたい」と考えている。

日差しが暖かい季節になりました。道端にもタンポポやシロツメクサなど春の草花が顔を覗かせています。新型コロナウイルスの感染拡大で緊急事態宣言が出されてから1年が経ちました。当時は本紙の新歓係としてご飯会などを企画し、新入生と出会えるのを弾ませていましたが、それはかなわず。外出もできず人と会えない閉塞感で、後ろ向きになってしまつことがよくありました。

アルバイト事情など役立つ情報を詰め込んだ全128ページのパンフレットは読みごたえがあります。また、筑波キャンパスにある食堂や喫茶店にコロナ禍での経営を取材しました(15面)。

感染対策取り卒業式実施



桜の木の下でマスク姿の卒業生たち(3月25日、大学会館前で) = 車谷郁実撮影

1面へ

卒業・修了制作展開催



クラフト領域の作品展示(2月16日、6A棟で) = 山田優芽撮影

5面へ

野球研 外部コーチとして活躍



球を用いた柔軟トレーニングを指導する見延コーチ(右)(1月16日、中川球場で) = 天野隼太撮影

12面へ

学内飲食店の感染対策



ビニールカーテンで飛沫防止策を講じ、会計をする従業員(3月22日、第二学群食堂で) = 北川瑠菜撮影

15面へ

学内総合

学芸

スポーツ

学生生活

編集後記

編集・発行

筑波大学新聞編集委員会
委員長 土井隆義(人文社会学系・教授) 社会学部 社会学系 教授 社会学部 社会学系 教授 社会学部 社会学系 教授
副委員長 佐藤勲(学生部) 委員長 菅谷純子(生命環境系・教授) 果樹園芸学(竹中佳彦(人文社会学系・教授) 政治学)

発行所 筑波大学

印刷 ヒラマ写真製版

次号は
5月24日(月)

発行予定です